KONICA MINOLTA

クイックガイド

The essentials of imaging

konicaminolta.co.jp

PageScope Net Care

この製品について

- KONICA MINOLTA PageScope Net Care は、ネットワーク上のプリンタやコピー機などのデバイスを一元管理するためのユーティリティソフトウェアです。KONICA MINOLTA PageScope Net Care を使用することにより、Web ブラウザを通してネットワーク上の各デバイスの状態の確認や設定を行うことができます。KONICA MINOLTA PageScope Net Care は、ネットワークの標準プロトコルである SNMP を使用することにより、KONICA MINOLTA 製のデバイス、標準 Printer-MIB に対応している他社製のネットワークデバイスを管理対象にすることができます。また、KONICA MINOLTA PageScope Net Care は Java 2 の技術を基盤にして実装されているため、Java をサポートする多くの環境で同等の機能と操作性を実現します。
- この製品は、音声読み上げソフト「IBM JAWS version 3.7」に対応しています。

重要

- **音声読み上げソフト使用時は、**HTML **モードでログインしてください。**
- **アプリケーション版の** Console Tools **は音声読み上げソフトに対応していません。音声読み上げソフトを使用する場合は、**HTML **版の** Console Tools **を使用してください。（「**2.4 Console Tools **の起動」**（p.7））

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標または商標です。

PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標または商標です。

Apple、Macintosh は、Apple Computer の登録商標です。

Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE, Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Java および Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の商標です。

IBM は、IBM Corporation の商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

仕様などは製品の改良の為、予告なしに変更することがあります。

目次

1 必要なシステム

PageScope Net Care は、以下の環境で動作します。

ネットワーク環境

LAN の形態	プロトコル
Ethernet（10/100BaseT）	TCP/IP
Token Ring（4/16 Mbps）	

サーバ

OS	ハードウェア（推奨）
Windows 98/Me/2000/ NT 4.0 (SP3)/XP	CPU：Pentium 300 MHz 以上 RAM：128 MB 以上
Solaris 2.6/7/8	SPARC ステーション RAM：128 MB 以上
Linux （x86、kernel 2.2.12、 glibc 2.1.2-11 以降）	CPU：Pentium 300 MHz 以上 RAM：128 MB 以上

＊ **Linux の動作環境について**

- 弊社では SuSE 6.4/8、Redhat 7.1/9 にて動作確認を行っています。
- Linux カーネル v 2.2.12 および glibc v 2.1.2-11 以降が動作する Intel Pentium プラットフォームをサポートしています。16 ビットカラーモード、ローカルホストに設定したディスプレイとともに使用する KDE または Gnome デスクトップを推奨します。

クライアント

Java モード

<table>
<tr><th>OS</th><th>Web ブラウザ</th><th>JAVA 環境</th></tr>
<tr><td>Windows 98/Me*/2000*/
NT 4.0 (SP3)/XP*</td><td>Microsoft Internet Explorer 4.x 以降
Netscape Communicator 4.x 以降
Netscape 6.x 以降</td><td rowspan="3">Java プラグイン 1.4 以降</td></tr>
<tr><td>Solaris 2.6/7/8</td><td rowspan="2">Netscape Communicator 4.x 以降
Netscape 6.x 以降</td></tr>
<tr><td>Linux
（x86、kernel 2.2.12、
glibc 2.1.2-11 以降）</td></tr>
<tr><td colspan="3">* OS に最初からインストールされている Web ブラウザからダウングレードしないでください。</td></tr>
</table>

HTML モード

<table>
<tr><th>OS</th><th>Web ブラウザ</th></tr>
<tr><td>Windows 98/Me*/2000*/
NT 4.0 (SP3)/XP*</td><td>Microsoft Internet Explorer 4.x 以降
Netscape Communicator 4.x 以降
Netscape 6.x 以降</td></tr>
<tr><td>Solaris 2.6/7/8</td><td rowspan="2">Netscape Communicator 4.x 以降
Netscape 6.x 以降</td></tr>
<tr><td>Linux
（x86、kernel 2.2.12、
glibc 2.1.2-11 以降）</td></tr>
<tr><td>MacOS 8/9/X*</td><td>Microsoft Internet Explorer 4.5 以降
Netscape Communicator 4.x 以降
Netscape 6.x 以降</td></tr>
<tr><td colspan="2">* OS に最初からインストールされている Web ブラウザからダウングレードしないでください。</td></tr>
</table>

2 サーバのインストールと起動方法

2.1 インストール

Windows の場合

1. PageScope Net Care の自己解凍アーカイブを解凍します。インストールプログラムが起動します。
2. 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

Solaris、Linux の場合

1. PageScope Net Care の tar アーカイブ（gzip で圧縮）を任意のディレクトリに展開します。
   テンポラリの「PageScope_Net_Care」ディレクトリが作成されます。
2. 「PageScope_Net_Care」ディレクトリ内の「install.sh」スクリプトを実行します。

   ご注意

   - PageScope Net Care **をご使用いただくには、ライセンスに同意いただく必要があります。**
     インストールスクリプト自体は英語表記のみですが、ライセンスの表記は、英語、仏語、伊語、独語、西語、日本語に対応しています。
     インストールスクリプトの引数として、“en”、“fr”、“it”、“de”、“es”、“ja”**を指定することで与えられた引数に対応した言語でライセンスが表示されます。引数が指定されない場合は、**OS **の言語設定が使用されます。**

3. ライセンスに同意される場合は「Y」を入力してください。インストールが継続されます。ライセンスに同意できない場合は「N」を入力してインストールを終了します。
4. インストール先を指定します。
   初期設定は「/etc/opt/PageScope_Net_Care」です。旧バージョンがインストールされている場合はそのインストールディレクトリが表示されます。任意のディレクトリを入力してください。

5. 指定ディレクトリへのインストールが開始されます。インストール完了後サーバの起動を確認するメッセージが表示されますので、起動する場合は「Y」を入力して下さい。

6. インストールが完了後、最初に展開したテンポラリの「PageScope_Net_Care」ディレクトリを削除してください。

2.2 アップグレード・インストール

PageScope Net Care Version 4.0 以降からのアップグレードに対応しています。

PageScope Version 3.x 以前のバージョンからのアップグレードはできません。

- 古い PageScope Net Care Version 4.x サーバが起動している場合は、停止してください。
- PageScope Net Care Version 5 をインストールします。
  インストール先フォルダに、古いバージョンの PageScope Net Care がインストールされたフォルダを指定して、そのまま上書きインストールすれば、古いバージョンのデータが引き継がれます。

ご注意

- **PageScope Net Care 4.x で Account Management モジュールを使用されていたお客様へ**
  PageScope Net Care 5.0 では、Account Management モジュールは、ジョブログビューワ、カウンタリーダとして標準搭載されました。(「9 デバイスのジョブ履歴情報を電子メールで入手し閲覧する」(p.66)「10 デバイスのカウンタ情報を電子メールで入手し閲覧する」(p.76) 参照)
  ただし、以下の点に留意願います。
  - PageScope Net Care 5.0 ではグループごとの集計機能が使用できません。
  - 部門ごとの使用枚数データは引き継がれません。

2.3 サーバの起動

Windows 98/Me の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**プログラム**」→「KONICA MINOLTA」→「PageScope Net Care」→「Start Server」をクリックします。
(PageScope Net Care をインストールする時に、システムの起動時に自動的に PageScope Net Care サーバを起動するように設定することもできます。)

Windows NT 4.0/2000 の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**設定**」→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**サービス**」アイコンをダブルクリックします。(Windows 2000 の場合は、「**管理ツール**」フォルダ内に「**サービス**」アイコンがあります。)
3. サービスのリストから「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[開始]** ボタンをクリックします。(Windows 2000 の場合は、「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、「**操作**」メニューから「**開始**」を選択します。)

Windows XP の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**パフォーマンスとメンテナンス**」アイコンをクリックします。
3. Windows XP Professional の場合は、「**パフォーマンスとメンテナンス**」ウィンドウで「**管理ツール**」をクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、「**管理ツール**」をクリックします。
4. 「**サービス**」アイコンをダブルクリックします。「**サービス**」ウィンドウで「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、ウィンドウ左の「**サービスの開始**」をクリックします。

SuSE Linux 7.0 以前の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. PageScope Net Care はインストール後に自動的に起動します。手動で起動する場合は、以下のコマンドを実行します。

   ```
   # /sbin/init.d/nmu start
   ```

   また、すでに起動している状態から、一旦停止して再起動するには、以下のコマンドを実行します。

   ```
   # /sbin/init.d/nmu restart
   ```

その他の Linux、および Solaris の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. PageScope Net Care はインストール後に自動的に起動します。手動で起動する場合は、以下のコマンドを実行します。

   ```
   # /etc/init.d/nmu start
   ```

   また、すでに起動している状態から、一旦停止して再起動するには、以下のコマンドを実行します。

   ```
   # /etc/init.d/nmu restart
   ```

2.4 Console Tools の起動

Console Tools は、PageScope Net Care のメンテナンスを行うための、サーバマシン上で起動するユーザインタフェースです。

Console Tools は、PageScope Net Care のメンテナンスを行うための機能をまとめたものです。サーバマシン上で起動するアプリケーション版と、PageScope Net Care の HTML を利用した HTML 版とが存在します。

以下の操作を行うことができます。

- PageScope Net Care サーバ（HTTP サーバ）の使用ポートの変更
- データベースの初期化、バックアップ、復元
- 更新ファイルのダウンロードインストール
- PageScope Net Care のアップデート
- サポート言語の一覧表示
- サポートデバイスの一覧表示
- 更新ファイルの手動インストール（アプリケーション版のみ）

HTML 版の場合

1. ログイン画面から「Console Tools」リンクを選択します。
   HTML 版 Console Tools 画面が表示されます。

アプリケーション版の場合

ご注意

- Console Tools は PageScope Net Care サーバを必ず停止してからお使いください。
- Console Tools は音声読み上げソフトに対応していません。ログイン画面より、HTML モードの Console Tools 機能を使用することにより、音声読み上げソフトに対応可能です。

Windows の場合

1. **［スタート］**ボタン→「**プログラム**」→「KONICA MINOLTA」→「PageScope Net Care」→「Console Tool」をクリックします。

SuSE Linux 7.0 以前の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行します。

```
# /sbin/init.d/nmu console
```

その他の Linux、および Solaris の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行します。

```
# /etc/init.d/nmu console
```

2.5 サーバの停止

Windows 98/Me の場合

1. タスクバーの PageScope Net Care アイコンを右クリックし、「**終了**」を選択します。
2. 確認画面で **[シャットダウン]** をクリックします。

Windows NT 4.0/2000 の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**設定**」→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**サービス**」アイコンをダブルクリックします。（Windows 2000 の場合は、「**管理ツール**」フォルダ内に「**サービス**」アイコンがあります。）
3. サービスのリストから「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[停止]** ボタンをクリックします。Windows 2000 の場合は、「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、「**操作**」メニューから「**停止**」を選択します。
4. Windows NT 4.0 の場合は確認のダイアログが表示されるので、**[はい]** ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. **［スタート］**ボタン→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**パフォーマンスとメンテナンス**」アイコンをクリックします。
3. Windows XP Professional の場合は、「**パフォーマンスとメンテナンス**」ウィンドウで「**管理ツール**」をクリックします。
   Windows XP Home Edition の場合は、「**管理ツール**」をクリックします。
4. 「**サービス**」アイコンをダブルクリックします。「**サービス**」ウィンドウで「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、ウィンドウ左の「**サービスの停止**」をクリックします。

SuSE Linux 7.0 以前の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行します。

```
# /sbin/init.d/nmu stop
```

その他の Linux, および Solaris の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行します。

```
# /etc/init.d/nmu stop
```

2.6 アンインストール

ご注意

- **アンインストールは、必ず** PageScope Net Care **サーバを停止してから行ってください。（停止方法については、「**2.5 **サーバの停止」**（p.8）**を参照してください。）**

Windows 98/Me の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**設定**」→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**アプリケーションの追加と削除**」アイコンをダブルクリックします。
3. 「**アプリケーションの追加と削除のプロパティ**」ダイアログで、プログラムのリストから「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[追加と削除]** ボタンをクリックします。
4. 画面の指示にしたがって、アンインストールを行ってください。

Windows NT 4.0/2000 の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**設定**」→「**コントロールパネル**」をクリックします。
2. 「**アプリケーションの追加と削除**」アイコンをダブルクリックします。
3. Windows NT 4.0 の場合は、「**アプリケーションの追加と削除のプロパティ**」ダイアログで、プログラムリストから「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[追加と削除]** ボタンをクリックします。
   Windows 2000 の場合は、「**アプリケーションの追加と削除**」ダイアログで、プログラムリストから「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[変更と削除]** ボタンをクリックします。
4. 画面の指示にしたがって、アンインストールを行ってください。

Windows XP の場合

1. **[スタート]** ボタン→「**コントロールパネル**」をクリックします。

2. 「**プログラムの追加と削除**」アイコンをクリックします。
3. 「**プログラムの追加と削除**」ウィンドウのプログラムリストで「KONICA MINOLTA PageScope Net Care」を選択し、**[変更と削除]** ボタンをクリックします。
4. 画面の指示にしたがって、アンインストールを行ってください。

SuSE Linux 7.0 以前の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行し、PageScope Net Care サーバを停止します。
```
# /sbin/init.d/num stop
```
2. 「PageScope_Net_Care」ディレクトリ内の「uninstall.sh」スクリプトを実行します。
3. インストールディレクトリのファイルが自動で削除され、アンインストールが完了します。

その他の Linux、および Solaris の場合

ご注意

- **以下の操作は、ルートの権限で行ってください。**

1. 以下のコマンドを実行し、PageScope Net Care サーバを停止します。
```
# /etc/init.d/num stop
```
2. 「PageScope_Net_Care」ディレクトリ内の「uninstall.sh」スクリプトを実行します。
3. インストールディレクトリのファイルが自動で削除され、アンインストールが完了します。

3 クライアントの使用方法

以下の操作は、Java モードを基準に説明しています。

3.1 クライアントの起動

Web ブラウザを起動し、以下の URL にアクセスします。

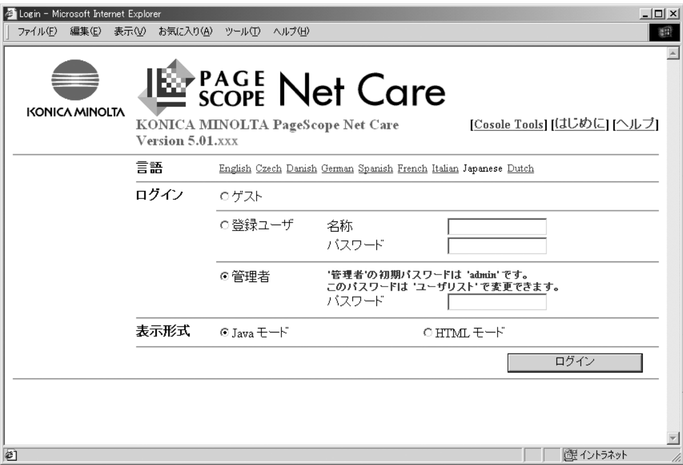
`http://` **サーバ名 ： ポート番号** /

「サーバ名」の部分は、PageScope Net Care サーバを起動しているホストの名前または IP アドレスに置き換えてください。

（例）PageScope Net Care サーバの IP アドレスが 192.9.200.200、ポート番号が 9090 の場合（ポート番号の初期値は “9090” です）：

```
http://192.9.200.200:9090/
```

PageScope Net Care サーバにアクセスすると、PageScope Net Care のログイン画面が表示されます。



3.2 ヘルプの表示

PageScope Net Care サーバ、およびクライアントのヘルプ情報を確認することができます。ログイン画面および各設定画面で、ヘルプを表示することができます。

ログイン画面でのヘルプの表示方法

1. ログイン画面の「ヘルプ」をクリックします。ログイン画面については、「3.1 クライアントの起動」（p.12）、「3.3 ログイン」（p.14）を参照してください。
2. 「**ヘルプ**」画面で、以下の項目から、表示したい項目をクリックします。
   - **はじめに**：　PageScope Net Care の概要を説明します。
   - **ログイン**：　ログイン画面について説明しています。
   - **画面構成**：　PageScope Net Care のクライアントが使用する Web ブラウザの画面について説明します。
3. 選択した項目が表示されます。

各設定画面でのヘルプの表示方法

1. 各設定画面内の  ボタンをクリックします。
   その画面に関するヘルプが表示されます。

3.3 ログイン

1. 「Language」セクションで、PageScope Net Care で使用する言語を選択します。言語は以下の中から選択できます。
   - English（英語）
   - Czech（チェコ語）
   - Danish（デンマーク語）
   - German（ドイツ語）
   - Spanish（スペイン語）
   - French（フランス語）
   - Italian（イタリア語）
   - Japanese（日本語）
   - Dutch（オランダ語）

   クライアントが Web ブラウザで使用する言語は、プラグインを追加することで増やすことができます。

   言語を選択すると、ログイン画面がその言語での表示になります。
   以降、「Japanese」を選択した場合の画面で説明します。

2. 「**ログイン**」セクションで、どの権限でログインするかを選択します。

   ゲスト：

   デバイスの状態や設定内容を見ることができます。ログインするためのパスワードは必要ありません。

   登録ユーザ：

   登録ユーザは、デバイスの設定と PageScope Net Care サーバの設定の一部を行うことができます。ログインするには、管理者によって登録されたユーザ名とパスワードを入力します。

   管理者：

   デバイスの管理、設定や、PageScope Net Care サーバの設定を行うことができます。ログインするには、管理者のパスワードを入力します。
   （パスワードの初期設定は、admin です。）

3. 「**表示形式**」セクションで、PageScope Net Care の表示スタイルを選択します。Java モードと HTML モードのどちらかを選択します。

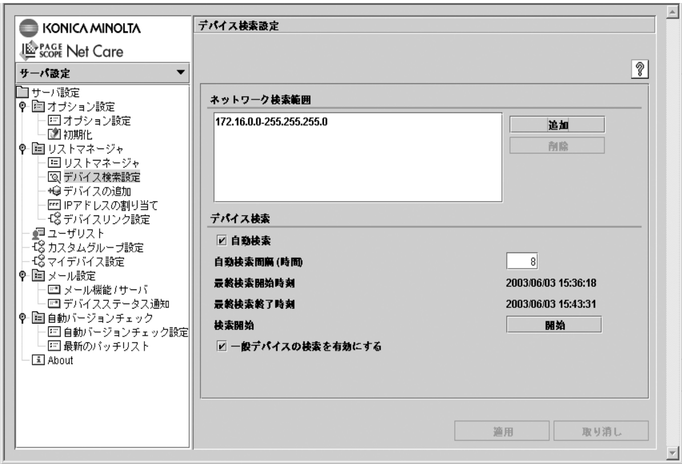
ご注意

> **クライアントに** Java **プラグインがインストールされていない場合、**Java **モードでログインすると、**Java **プラグインをインストールするか確認のメッセージが表示されます。メッセージに同意すると、お使いの** Web **ブラウザの種類に応じて以下の作業に進みます。**
>
> - Internet Explorer**：**
>
> **インターネットから自動的に** Java **プラグインをダウンロードして、インストールを行います。**
>
> - Netscape communicator**：**
>
> **インターネットの** Java **プラグインダウンロードサイトに自動的にアクセスします。ダウンロードとインストールは手動で行う必要があります。**

4. 以上の項目を設定したら、**[ログイン]** ボタンをクリックします。

3.4　検索範囲の設定

デバイスを検索するネットワークの範囲を設定します。



1. 管理者としてログインします。（ログイン方法については、「3.3 ログイン」（p.14）を参照してください。）
2. 画面の左側にある管理メニューから「**サーバ設定**」を選択します。
   HTML モードの場合は、管理メニューから「**サーバ設定**」を選択し、［Go］ボタンをクリックします。
3. 「**サーバ設定**」メニューから「**デバイス検索設定**」をダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。画面の右側に「**デバイス検索設定**」画面が表示されます。

   Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが表示されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**デバイス検索設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。

4. 「**ネットワーク検索範囲**」リストに、PageScope Net Care サーバが所属するローカルネットワークが表示されます。（PageScope Net Care サーバの起動時に、サーバが所属するローカルネットワークが自動的に検索範囲に追加されます。）ネットワークの自動検索に失敗した場合、またはこれ以外のネットワークを検索対象にする場合は、**［追加］**ボタンをクリックします。

ご注意

- PageScope Net Care **をインストールしたサーバ上で** SNMP **エージェントが稼動していると、**PageScope Net Care **サーバの起動時にローカルネットワークを検索できない場合があります。その場合は、**SNMP **エージェントを停止するか、または手動でローカルネットワークを検索範囲に追加してください。**

5. ネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。さらにアドレスの範囲を指定するときは、「**検索範囲（開始）**」と「**検索範囲（終了）**」に入力します。
6. ネットワークを検索対象から外す場合は、「**ネットワーク検索範囲**」セクションのリストボックスで目的のネットワークを選択し、**［削除］**ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示される場合は**［了解］**ボタンをクリックします。
7. RFC-1759 Printer-MIB 対応の他社製デバイスを検索対象に含める場合は、「**デバイス検索**」セクションの「**一般デバイスの検索を有効にする**」をチェックし、**［適用］**ボタンをクリックします。

4 デバイスの管理

ネットワーク上の各デバイスの管理や設定を行います。デバイス管理／設定用の画面の機能は、デバイスの種類によって異なります。（各機能の詳細については、PageScope Net Care のオンラインヘルプを参照してください。）

以下の操作は、Java モードを基準に説明しています。

4.1 画面の表示方法

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**デバイス管理**」を選択します。HTML モードの場合は「**デバイス管理**」を選択し、［Go］ボタンをクリックします。デバイスリストに管理対象となるデバイスが表示されます。



2. 「**デバイス管理**」メニューの以下の各項目をダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）することで、リストの表示方法を変更できます。

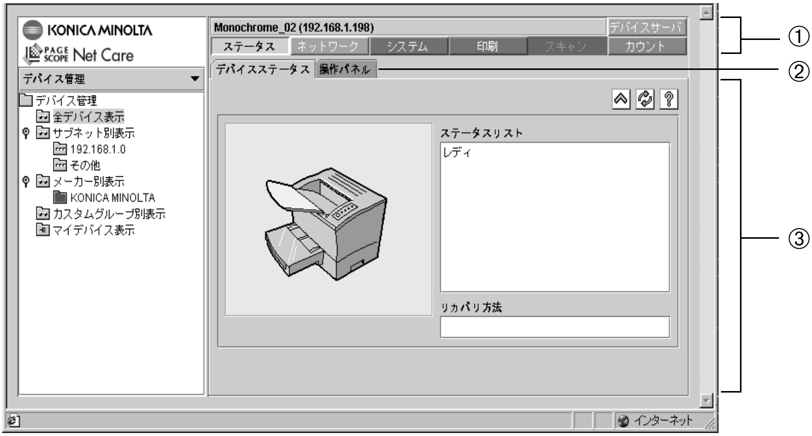
   - **全デバイス表示**：　管理対象となる、すべてのデバイスを表示します。
   - **サブネット別表示**：　ネットワークアドレスごとに、デバイスを振り分けて表示します。
   - **メーカー別表示**：　製造メーカーごと（KONICA MINOLTA とその他）に、デバイスを振り分けて表示します。
   - **カスタムグループ別表示**：
     カスタムグループごとに、デバイスを振り分けて表示します。（カスタムグループの設定方法については、「6.10 カスタムグループの設定」（p.42）を参照してください。）
   - **マイデバイス表示**：　ユーザがマイデバイスに設定したデバイスを表示します。（マイデバイスの設定方法については、「6.11 ユーザごとに使用デバイスを登録する」（p.45）を参照してください。）

3. 「**デバイスリスト**」の中から選択するデバイスをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。デバイスの画面が表示されます。（応答がないデバイスは選択できません。）

   また、「**デバイスリスト**」の中からアイコンをクリックすると、直ちにステータスの更新が行われます。

4.2　デバイスパネルの画面構成

デバイスの管理／設定を行う画面は、以下のように構成されています。



① ボタン

各ボタンにはデバイスの管理／設定機能がカテゴリ分けされています。ボタンをクリックすると、その下に選択したカテゴリに属する各機能のタブが表示されます。各ボタンの機能については、「4.3 機能」（p.21）を参照してください。

② タブ

ボタンで選択したカテゴリから、さらに細かく分類された機能を選択することができます。デバイスの種類により、ここに表示されるタブは異なります。

③ 情報／設定画面

選択されているタブの詳細を表示します。

4.3 機能

デバイスの情報／設定画面に表示されるボタンには、以下の機能があります。

- **ステータス** デバイスの状態やオプションの装着状態を、グラフィカルに表示します。
- **ネットワーク** デバイスのネットワーク設定ができます。
- **システム** デバイス情報の詳細表示や設定ができます。
- **プリント** プリントに関する設定ができます。
- **スキャン** スキャナのあるデバイスで、スキャナの状態を表示したり、スキャナの設定ができます。
- **カウント** プリント、スキャン、エラーのカウント値を表示します。最大過去 1 年間のカウント情報を表示できます。
- **デバイスサーバ** Web ブラウザの新しいウィンドウが開き、デバイスに内蔵されている Web 設定ページにアクセスします。
- **デバイスリンク** デバイスリンク設定でリンク設定されたデバイスのデバイスパネル表示時のみ［**デバイスリンク**］ボタンは表示され、このボタンをクリックすると、リンク先デバイスのデバイスパネルが表示されます。デバイスリンクの設定方法については、「6.8 デバイスリンク」（p.37）を参照してください。

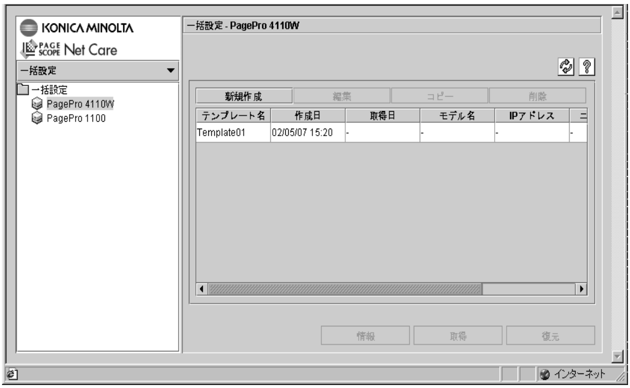
5 複数デバイスの一括設定

PageScope Net Care サーバが管理しているネットワーク内に同一機種のデバイスがいくつも存在する場合、1 台のデバイスから設定値（テンプレート）を取得することで、同一機種のデバイスを簡単に同じ設定（一括設定）にすることができます。

以下の操作は、Java モードを基準に説明しています。

一括設定メニューの表示方法

画面の左側にあるドロップダウンリストから「**一括設定**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**一括設定**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。



「**一括設定**」メニューに表示されるデバイスは、管理者と登録ユーザとで設定内容に違いがあります。

管理者：

PageScope Net Care サーバが管理しているすべてのデバイスから、設定値の取得や一括設定ができます。

登録ユーザ：

PageScope Net Care サーバが管理しているすべてのデバイスから設定値を取得することができますが、一括設定できるデバイスは、ユーザを登録するときにカスタムグループとして割り当てられたデバイスに限られます。

5.1 テンプレートの作成

1. 「**一括設定**」メニューから、設定値をテンプレートにしたいデバイスのアイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。
2. 「**一括設定**」画面のタイトルに選択したデバイスの名前が表示されていることを確認し、**［新規作成］**ボタンをクリックします。



3. 「**テンプレート名**」ボックスに、任意の名前を入力します。
4. 「**テンプレート アイテム**」アイコンのツリーには、変更が可能な設定項目が表示されます。ここでは、テンプレートに設定したい項目をチェックします。
5. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックします。
6. 作成したテンプレートは、以下の操作を行うことができます。
   - **［編集］**ボタン：　テンプレートの設定項目を変更します。
   - **［コピー］**ボタン：　テンプレートのコピーを作成します。
   - **［削除］**ボタン：　テンプレートを削除します。

5.2　一括設定

設定値の取得方法

1. 「**一括設定**」メニューから、テンプレートとなるデバイスのアイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、「**一括設定**」画面を表示します。
2. 「**一括設定**」画面でテンプレートを選択して（HTML モードの場合は、テンプレートのラジオボタンを選択します）、**［取得］**ボタンをクリックします。
3. 表示されたデバイスのリストから、設定値を取得したいテンプレートのラジオボタンを選択し、再度**［取得］**ボタンをクリックします。表示される「**テンプレート アイテム**」ツリーでは、取得する設定値を確認できます。Java モードでは、**［展開］**ボタンをクリックしてツリーを展開することができます。
4. ［OK］ボタンをクリックします。

取得した設定値の適用

1. 表示されたデバイスのリストから、設定値を一括設定したいデバイスのテンプレートを選択します。HTML モードの場合は、目的のテンプレートのラジオボタンを選択します。

   ご注意

   - **過去に一度も取得したことがないデバイスのテンプレートは一括設定できません。また、同様に［情報］ボタンも使用できません。**

2. **［復元］**ボタンをクリックします。
3. 一括設定したいデバイスの「**グループ**」ラジオボタンを選択し、再度**［復元］**ボタンをクリックします。
4. 取得した設定値が、手順 3 で選択したデバイスに書き込むことを確認する画面が表示されます。
5. ［OK］ボタンをクリックします。

ご注意

- **各デバイスで個別に設定が必要な項目（ネットワークアドレスなど）については、ここでは設定を変更できません。**

6 PageScope Net Care の設定

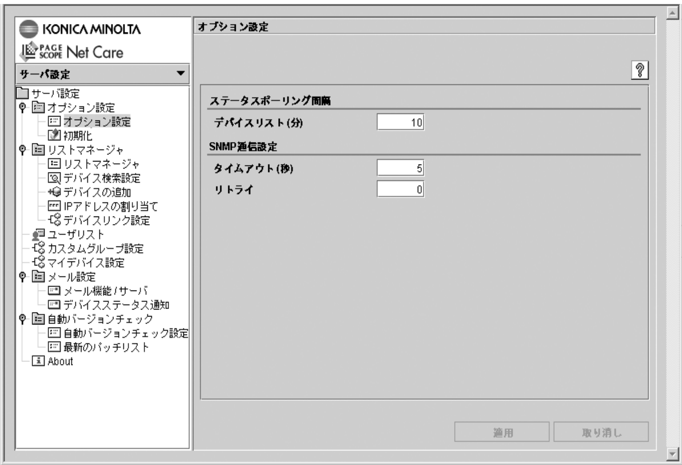
ここでは、PageScope Net Care サーバに関する、さまざまな設定を行うことができます。以下の操作は、Java モードを基準に説明しています。

ご注意

- **管理者としてログインした場合、登録ユーザとしてログインした場合、ゲストとしてログインした場合で、設定できる項目に違いがあります。各設定項目の詳細については、PageScope Net Care のオンラインヘルプを参照してください。**

サーバ設定メニューの表示方法

画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。「**サーバ設定**」メニューは、ログインした権限によって表示される設定項目が異なります。



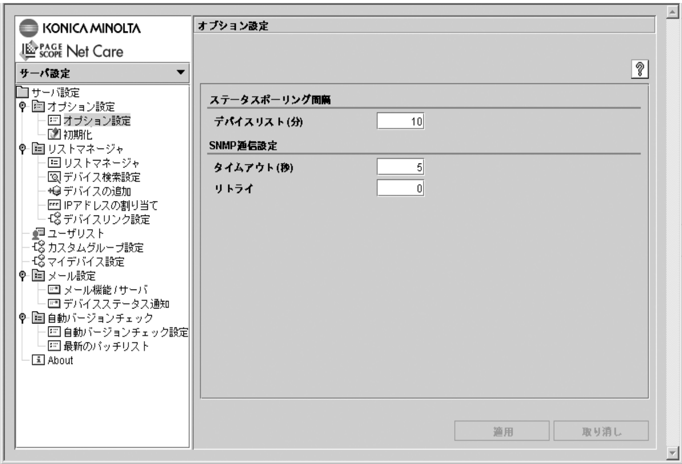
6.1 オプション設定

PageScope Net Care サーバとネットワーク上のデバイス間の通信に関する設定を行うことができます。

オプション設定画面の表示方法

「**オプション設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**オプション設定**」→「**オプション設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



設定手順

1. 必要に応じて、以下の各項目の設定値を変更します。

   「ステータスポーリング間隔」セクション

   - **デバイスリスト（分）**：
     デバイスリストに表示されているデバイスの情報を更新する間隔を分単位で入力します。

   「SNMP 通信設定」セクション

   - **タイムアウト（秒）**：
     デバイスリストに表示されているデバイスの情報を更新する場合に、情報を要求してから取得するまでの待ち時間を秒単位で入力します。
   - **リトライ**：　デバイスから情報の取得に失敗した場合のリトライ回数を入力します。

2. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックします。

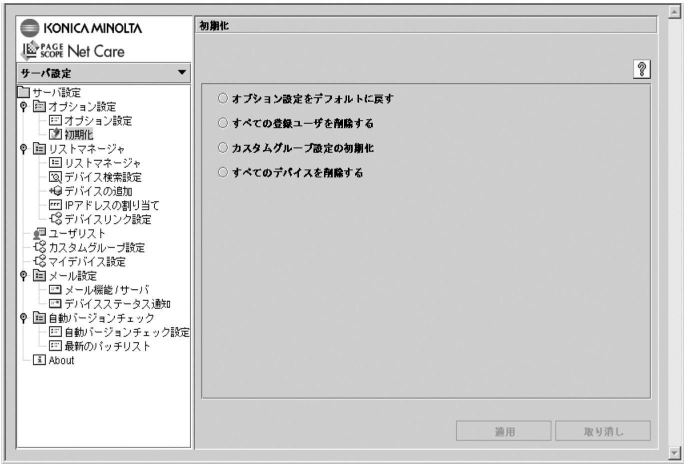
6.2 設定内容の初期化

管理者や登録ユーザが行った PageScope Net Care の設定内容を、設定の種類ごとに初期化することができます。

初期化画面の表示方法

「**初期化**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**オプション設定**」→「**初期化**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



設定手順

1. 以下の項目の中で、初期化したい項目のラジオボタンを選択し、**[適用]** ボタンをクリックします。
   - **オプション設定をデフォルトに戻す**：
     管理者が「**オプション設定**」画面で設定した内容を、初期設定に戻します。（「6.1 オプション設定」（p.26）参照）
   - **すべての登録ユーザを削除する**：
     「**ユーザリスト**」画面で設定した登録ユーザの情報をすべて削除します。（「6.9 ユーザの登録と編集」（p.39）参照）
   - **カスタムグループ設定の初期化**：
     「**カスタムグループ設定**」画面で設定したグループの情報をすべて削除します。（「6.10 カスタムグループの設定」（p.42）参照）
   - **すべてのデバイスを削除する**：
     「**リストマネージャ**」画面のリストに表示されているデバイスの情報をすべて削除します。（「6.3 管理デバイスの選択」（p.30）参照）
2. Java モードでは、初期化を確認するダイアログが表示されます。**[了解]** ボタンをクリックすると、初期化が行われます。HTML モードでは、確認のダイアログは表示されません。

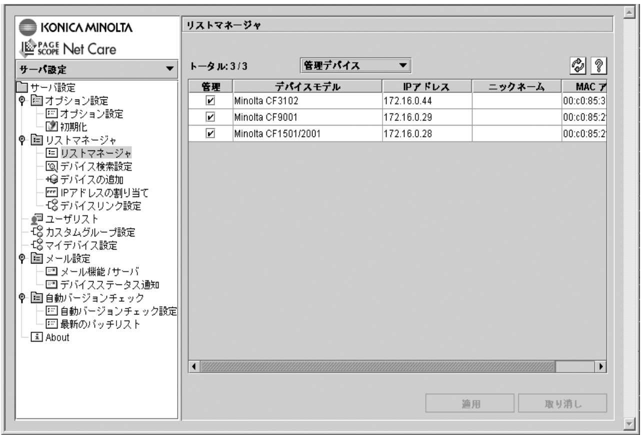
6.3 管理デバイスの選択

ネットワーク上で検索されたデバイスの中で、どのデバイスを管理対象にするかを選択できます。ここで選択したデバイスのみが、「**デバイス管理**」メニューの管理対象デバイスのリストに表示されます。

リストマネージャ画面の表示方法

「**リストマネージャ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**リストマネージャ**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



設定手順

1. ネットワーク上で検索されたデバイスが、「**リストマネージャ**」画面に表示されます。現在リストに表示されているデバイスの情報を更新したい場合は、 ボタンをクリックします。
2. 検索されたデバイスは、はじめは、すべて管理対象として設定されます。デバイスを管理対象から外したい場合は、デバイスの横の「**管理**」チェックボックスのチェックを外します。
3. **［適用］**ボタンをクリックします。変更を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

6.4 管理デバイスの削除

ネットワーク上で検索されたデバイスの中で、不要になったデバイスを PageScope Net Care のデータベースから削除する場合、「**リストマネージャ**」画面上で削除することができます。

リストマネージャ画面の表示方法

「**リストマネージャ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**リストマネージャ**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



デバイスを削除する場合

1. 画面のドロップダウンリストから「**デバイス削除**」を選択します。HTML モードの場合は、ドロップダウンリストから「**デバイス削除**」を選択し、**［Go］**ボタンをクリックします。
2. 表示されたリストから、削除したいデバイスの「**削除**」チェックボックスをチェックします。
3. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

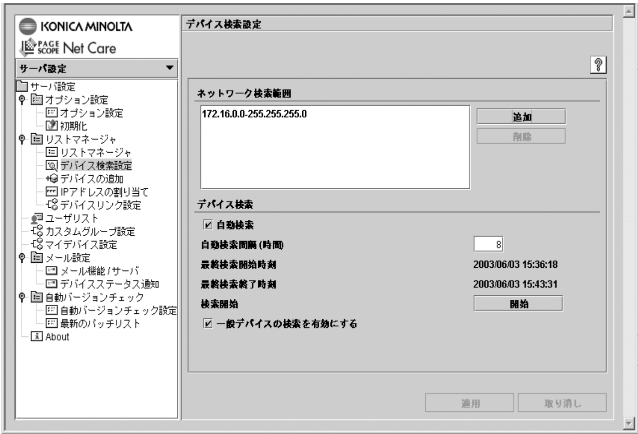
6.5 デバイス検索範囲の指定

デバイスを検索するネットワークの範囲を指定できます。

デバイス検索設定画面の表示方法

「**デバイス検索設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**デバイス検索設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



「デバイス検索」セクションについて

- **自動検索**：　ネットワーク上のデバイスの再検索を自動的に行う場合にチェックします。
- **自動検索間隔（時間）**：　「**自動検索**」をチェックしたときに、自動検索を行う間隔を時間単位で入力します。
- **最終検索開始時刻**：　デバイスを再検索した開始日時を表示します。
- **最終検索終了時刻**：　デバイスを再検索した終了日時を表示します。
- **検索開始**：　**［開始］**ボタンをクリックすると、デバイスの検索を開始します。

- **一般デバイスの検索を有効にする**：
  RFC-1759 Printer-MIB 対応の他社製デバイスを検索対象に含めたいときにチェックします。

ネットワークを検索範囲に追加する設定手順

1. 「**デバイス検索設定**」画面で、「**ネットワーク検索範囲**」セクションの［**追加**］ボタンをクリックします。「**ネットワーク検索範囲**」セクションの下に「**ネットワーク範囲の入力**」セクションが表示されます。



2. 「**ネットワークアドレス**」ボックスに、追加するネットワークの IP アドレスを入力します。
3. 「**サブネットマスク**」ボックスに、追加するネットワークのサブネットマスク値を入力します。
4. 検索するホストアドレスの範囲を変更したい場合は、「**検索範囲（開始）**」ボックスと「**検索範囲（終了）**」ボックスにそれぞれ検索開始と検索終了のアドレスを入力してください。

   HTML モードの場合は、「**検索範囲（開始）**」ボックスと「**検索範囲（終了）**」ボックスに自動的に値が入力されませんが、空白のままでもかまいません。その場合は、「**ネットワークアドレス**」ボックスと「**サブネットマスク**」ボックスで設定された範囲すべてが検索範囲となります。検索範囲を指定したい場合は、「**検索範囲（開始）**」ボックスと「**検索範囲（終了）**」ボックスにそれぞれ検索開始と検索終了のアドレスを入力してください。

5. **［適用］**ボタンをクリックします。入力した設定値を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。
6. RFC-1759 Printer-MIB 対応の他社製デバイスを検索対象に含める場合は、「**一般デバイスの検索を有効にする**」チェックボックスをチェックし、**［適用］**ボタンをクリックします。

ネットワークを検索範囲から解除する

1. 「**ネットワーク検索範囲**」リストで、検索範囲から解除したいネットワークをクリックして選択し、**［削除］**ボタンをクリックします。
2. Java モードの場合は、確認のダイアログが表示されたら**［了解］**ボタンをクリックします。HTML モードでは、確認のダイアログは表示されません。

   選択したネットワークがリストから削除されます。

デバイスが自動検索されないとき

ネットワーク上のデバイスの再検索を行うには、「**デバイス検索**」セクションの**［開始］**ボタンをクリックします。デバイスの自動検出中に再度**［開始］**ボタンをクリックすると、ネットワークの検索を最初からやり直します。

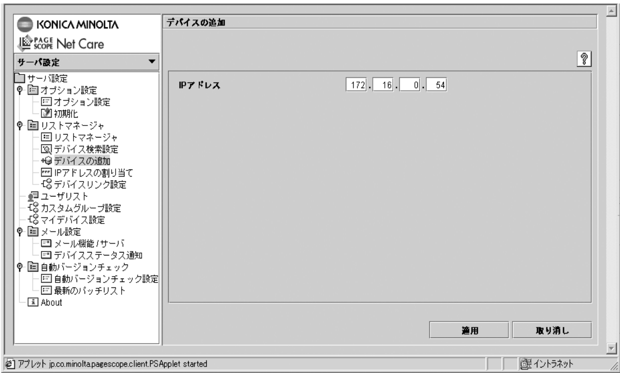
6.6　デバイスの手動追加

「6.5 デバイス検索範囲の指定」（p.32）で「**デバイス検索**」セクションの **［開始］**ボタンをクリックしても検索されなかったデバイスは、「**デバイスの追加**」画面で IP アドレスを直接指定することにより、デバイスをリストマネージャに追加することができます。

デバイスの追加画面の表示方法

「**デバイスの追加**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**デバイスの追加**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



設定手順

1. 「**デバイスの追加**」画面の「**IP アドレス**」ボックスに、追加したいデバイスの IP アドレスを入力します。
2. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

ご注意

- **［適用］ボタンをクリックした後、デバイスの追加が完了するまで数十秒かかる場合があります。その場合は、しばらくそのままでお待ちください。**
- **Java モードの場合は、設定の結果がポップアップで表示されます。HTML モードの場合は、設定の結果が「デバイスの追加」画面上に表示されます。**

6.7　デバイスの IP アドレス指定

ネットワーク上のデバイスに IP アドレスを割り当てることができます。この設定を行うにはあらかじめ、IP アドレスを割り当てたいデバイスの、ネットワークインターフェイスの MAC アドレスを調べておく必要があります。

IP アドレスの割り当て画面の表示方法

「**IP アドレスの割り当て**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**IP アドレスの割り当て**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



設定手順

1. 「**IP アドレス**」ボックスに、デバイスに割り当てる IP アドレスを入力します。
2. 「**MAC アドレス**」ボックスに、デバイスのネットワークインターフェイスの MAC アドレスを入力します。
3. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

ご注意

- ［適用］ボタンをクリックした後、アドレスの設定が完了するまでに少し時間がかかります。
- Java モードの場合は、設定の結果がポップアップで表示されます。HTML モードの場合は、設定の結果が「IP アドレスの割り当て」画面上に表示されます。

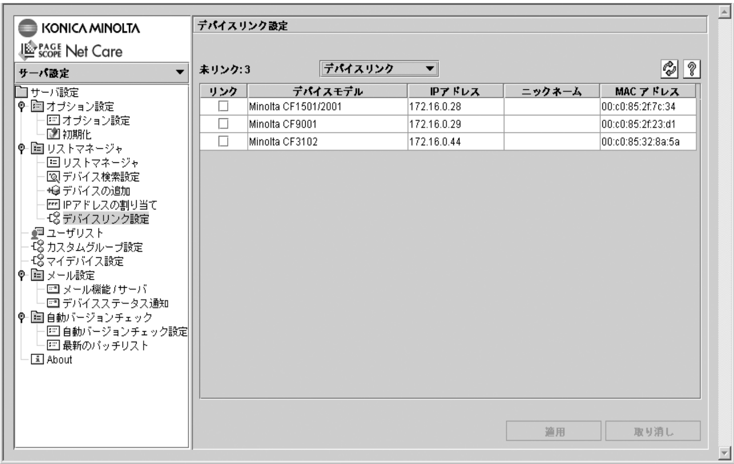
6.8 デバイスリンク

PageScope Net Care サーバが管理しているデバイスで、複合機など、単一の筐体にプリンタの NIC（ネットワークインターフェースカード）とスキャナの NIC を装備している場合などに、デバイスリンク設定でそれらのデバイスのパネルをリンクすることができます。

デバイスリンク設定画面の表示方法

「**デバイスリンク設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**リストマネージャ**」→「**デバイスリンク設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



リンクの設定手順

1. 「**デバイスリンク設定**」画面のドロップダウンリストに「**デバイスリンク**」が表示されていることを確認してから、デバイスリストから、リンクしたい各デバイスの「**リンク**」チェックボックスをチェックします。
2. **[適用]** ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**[取り消し]** ボタンをクリックしてください。

リンクの解除手順

1. 「**デバイスリンク設定**」画面のドロップダウンリストから「**デバイスリンク解除**」を選択します。
   HTML モードの場合は、ドロップダウンリストから「**デバイスリンク解除**」を選択し、**[Go]** ボタンをクリックします。
2. デバイスリストから、リンクを解除したい各デバイスの「**リンク解除**」チェックボックスをチェックします。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**[取り消し]** ボタンをクリックしてください。

6.9 ユーザの登録と編集

ログインできるユーザを PageScope Net Care サーバに登録したり、削除することができます。また、登録ユーザのパスワードや電子メールアドレスを変更することができます。

ユーザリスト画面の表示方法

「**ユーザリスト**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**ユーザリスト**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



登録されたユーザは、以下の設定を行うことができます。

デバイスの設定

- 登録ユーザに関連付けられたカスタムグループに属するデバイスの設定変更ができます。登録ユーザでログインしたときに、「**デバイス管理**」画面にカスタムグループ名の横に「**(設定可能デバイス)**」と表示され、その中に表示されるデバイスのみ設定変更できます。

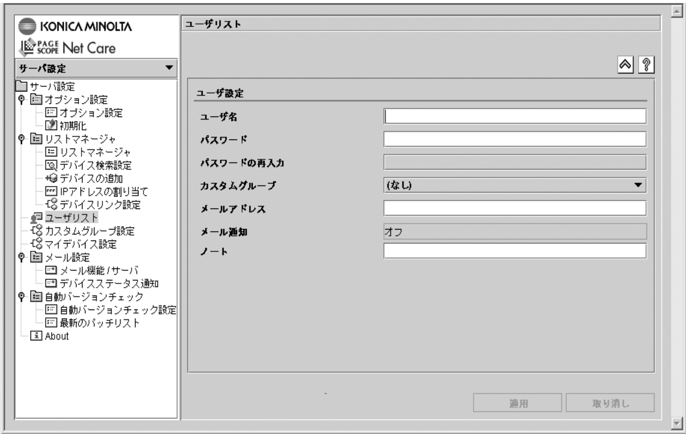
PageScope Net Care サーバの設定

ログインしたユーザ自身の以下の設定を行うことができます。

- 登録情報の変更
- 「**マイデバイス設定**」画面での「**マイデバイス**」の選択
- 「**デバイスステータス通知**」画面の設定

ユーザの登録手順

1. 「**ユーザリスト**」画面の［**新規**］ボタンをクリックします。「**ユーザリスト**」画面に「**ユーザ設定**」セクションが表示され、新しいユーザの設定項目が表示されます。



2. 以下の各項目の設定値を入力します。

- **ユーザ名**：　ユーザの名前を入力します。
- **パスワード**：　パスワードを入力します。
- **パスワードの再入力**：
  確認のため、もう一度同じパスワードを入力します。
- **カスタムグループ**：　ユーザが使用するカスタムグループを選択できます。
- **メールアドレス**：　ユーザの電子メールアドレスを入力できます。
- **メール通知（表示のみ）**：
  「デバイスステータス通知の設定」（p.50）でデバイスステータス通知を受信するにチェックを付けて有効にすると自動的に「オン」になります。
- **ノート**：　登録するユーザに関する補足情報を入力できます。

3. ［**適用**］ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、［**取り消し**］ボタンをクリックしてください。

ユーザの登録内容の変更手順

1. 「**ユーザリスト**」画面のリストから、登録内容を変更したいユーザをクリックして選択します。HTML モードの場合は、登録されているユーザ名の左のラジオボタンでユーザを選択します。
2. ［**編集**］ボタンをクリックします。「**ユーザリスト**」画面に、選択した登録ユーザの「**ユーザ設定**」セクションが表示され、登録ユーザの設定項目が表示されます。



3. 変更したい項目の設定値を入力します。各項目の内容については、「ユーザの登録手順」（p.40）を参照してください。
4. ［**適用**］ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、［**取り消し**］ボタンをクリックしてください。

ユーザの削除手順

1. 「**ユーザリスト**」画面のリストから、削除したいユーザをクリックします。HTML モードの場合は、登録されているユーザ名の左のチェックボックスでユーザを選択します。
2. ［**削除**］ボタンをクリックします。
3. 登録ユーザの削除を確認するダイアログが表示された場合は、［**了解**］ボタンをクリックして選択したユーザを削除します。操作を取り消したい場合は、［**取り消し**］ボタンをクリックしてください。

6.10 カスタムグループの設定

管理対象のデバイスを、任意のグループに分けることができます。

カスタムグループ設定画面の表示方法

「**カスタムグループ設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**カスタムグループ設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



カスタムグループの作成手順

1. 「**カスタムグループ設定**」画面の［**新規**］ボタンをクリックします。
   「**グループ名**」ボックスとリストマネージャに表示される管理デバイスが表示されます。
2. 「**グループ名**」ボックスにグループ名を入力します。
3. デバイスリストから、グループに含めたいデバイスの「**グループ**」チェックボックスをチェックし、［**適用**］ボタンをクリックします。
   デバイスの選択を取り消したい場合は、［**取り消し**］ボタンをクリックしてください。

カスタムグループの設定内容の確認手順

1. 「**カスタムグループ設定**」画面から、設定内容を確認したいグループ名を選択して（HTML モードの場合は、変更したいグループ名の左のチェックボックスをチェックします）、**［閲覧］**ボタンをクリックします。
2. 選択したグループに含まれるデバイスのリストが表示されます。

メモ

- **（出力アイコン）をクリックすると、デーブルの内容を CSV 形式で出力できます。**

カスタムグループの編集手順

1. 「**カスタムグループ設定**」画面で設定内容を変更したいグループ名を選択して（HTML モードの場合は、変更したいグループ名の左のチェックボックスをチェックします）、**［編集］**ボタンをクリックします。「**グループ名**」ボックスとリストマネージャに表示される管理デバイスが表示されます。
2. 各項目を変更します。

   カスタムグループ名を変更したいとき

   「**グループ名**」ボックスに、新しいグループ名を入力します。

   デバイスをグループから除外したいとき

   除外したいデバイスの「**グループ**」チェックボックスのチェックを外します。

   デバイスをグループに追加したいとき

   追加したいデバイスの「**グループ**」チェックボックスをチェックします。
3. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。
4. 他のカスタムグループを編集する場合は、「**カスタムグループ設定**」画面から、編集したいグループ名を選択して（HTML モードの場合は、変更したいグループ名の左のチェックボックスをチェックします）、**［編集］**ボタンをクリックします。以降の手順は、手順 2 ～ 3 と同様に設定を行ってください。

カスタムグループのコピー手順

1. 「**カスタムグループ設定**」画面から、コピーしたいグループ名を選択して（HTML モードの場合は、変更したいグループ名の左のチェックボックスをチェックします）、**［コピー］**ボタンをクリックします。
2. 「**グループ名**」ボックスのグループ名を変更します。

ご注意

- **既存のカスタムグループと同じ名前でコピーすることはできません。コピーするグループ名は、必ず新しい名前を入力してください。**

3. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

カスタムグループの削除手順

1. 「**カスタムグループ設定**」画面から、デバイスを削除したいグループ名を選択して（HTML モードの場合は、変更したいグループ名の左のチェックボックスをチェックします）、**［削除］**ボタンをクリックします。
2. カスタムグループの削除を確認するダイアログが表示される場合は、**［了解］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

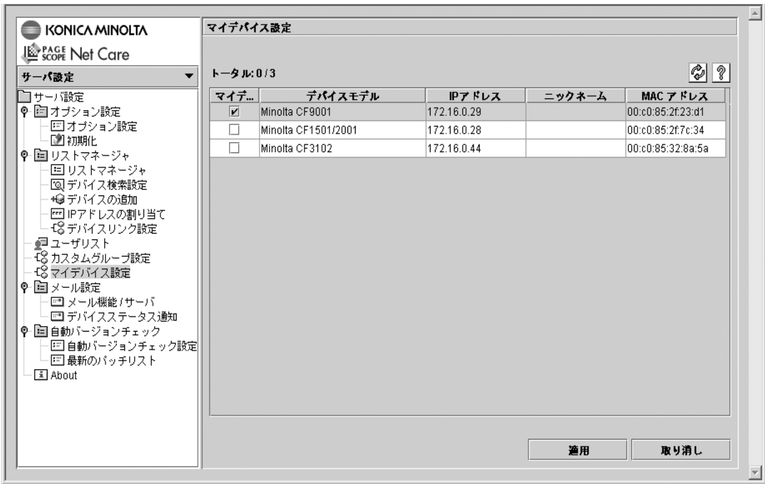
6.11 ユーザごとに使用デバイスを登録する

PageScope Net Care サーバが管理するすべてのデバイスから、各ユーザが管理したいデバイスのみを「**マイデバイス**」に登録することができます。

マイデバイス設定画面の表示方法

「**マイデバイス設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**マイデバイス設定**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



デバイスの設定手順

1. 「**マイデバイス設定**」画面のデバイスリストで、「**マイデバイス**」に登録したいデバイスの「**マイデバイス**」チェックボックスをチェックします。

2. **[適用]** ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**[取り消し]** ボタンをクリックしてください。

デバイスの除外手順

1. 「**マイデバイス設定**」画面のデバイスリストで、「**マイデバイス表示**」から除外したいデバイスの「**マイデバイス**」チェックボックスのチェックを外します。
2. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

6.12 メール送受信の設定

ここでは、電子メールの送受信に必要な SMTP/POP の設定を行います。

この設定は以下の機能により使用されます。

- デバイスでエラー／警告が発生、もしくはエラー／警告から復帰した際に管理者／ユーザにメール通知する機能（6.13 章 デバイスステータス通知（p.48））
- コマンドメール、サーバ情報通知機能（6.13 章 コマンドメール／サーバ情報通知（p.48））
- 新しい更新ファイルがリリースされた際に、管理者にメール通知する機能（「8 更新ファイル自動チェックおよびダウンロード」（p.61））
- PageScope Net Care サーバがデバイスのジョブ履歴情報（「9 デバイスのジョブ履歴情報を電子メールで入手し閲覧する」（p.66））やカウンタ情報（「10 デバイスのカウンタ情報を電子メールで入手し閲覧する」（p.76））をメールで入手する機能

ご注意

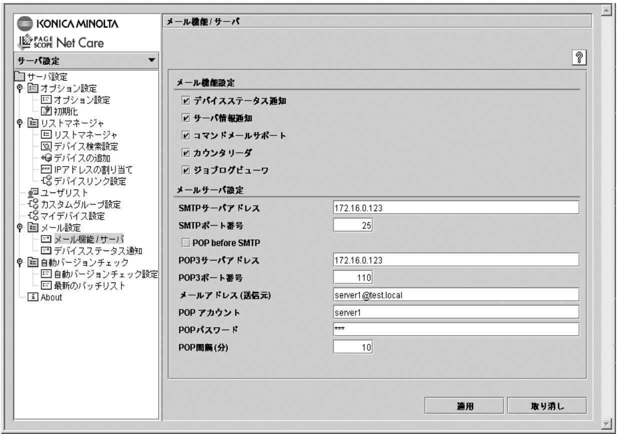
- PageScope Net Care **の電子メール設定を行う前に、メールサーバにあらかじめ** PageScope Net Care **用のメールアカウントを作成しておく必要があります。**
- PageScope Net Care **メールアカウントの情報を「メールアドレス（送信元）」、「**POP **アカウント」、「**POP **パスワード」ボックスに入力してください。**
- **デバイスステータス通知・サーバ情報通知のみを使用する際は** POP **の設定は必要ありません（アカウントの取得は不要）。**

設定手順

「**メール機能 / サーバ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、設定画面を表示します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**メール設定**」→「**メール機能 / サーバ**」の順にアイコンをダブルクリックします。

1. メール機能設定セクションで以下の項目を設定します。



- **SMTP サーバアドレス**：
  SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- **SMTP ポート番号**：
  SMTP サーバのポート番号を入力します。初期設定では 25 を使用します。
- **POP before SMTP 機能を利用する**：
  SMTP 送信前に POP アカウントおよびパスワードでの認証が必要な場合は、チェックします。この機能を利用する場合は POP の設定が必要です。
- **POP3 サーバアドレス**：
  POP3 サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。

- POP3 **ポート番号**：
  POP3 サーバのポート番号を入力します。初期設定では 110 を使用します。
- **メールアドレス（送信元）**：
  PageScope Net Care サーバ用のメールアドレスを入力します。
- POP **アカウント**：
  PageScope Net Care サーバ用の POP アカウント名を入力します。
- POP **パスワード**：
  PageScope Net Care サーバ用 POP アカウントのパスワードを入力します。
- POP **間隔（分）**：POP サーバへメールチェックを行う間隔を分単位で入力します。初期設定では 10 分ごとにメールをチェックします。

2. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

6.13 デバイスステータス通知／サーバ情報通知／コマンドメールの設定

ここでは、デバイスステータス通知／サーバ情報通知／コマンドメールの設定を行います。

重要

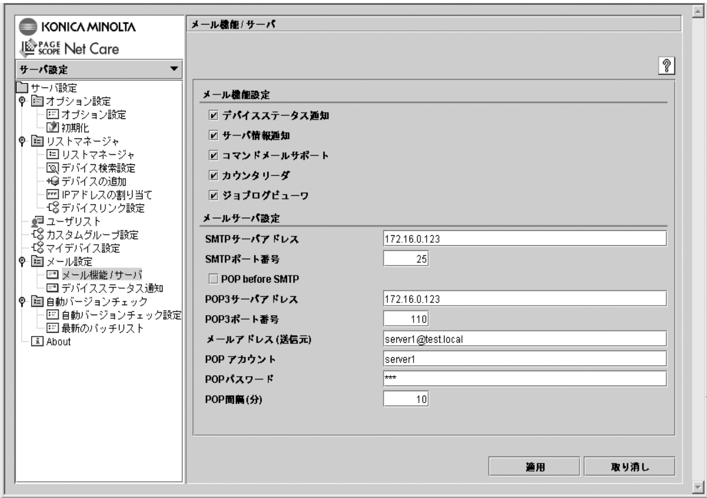
- **各機能を使用するには、事前にメール設定を完了しておく必要があります。（「6.12 メール送受信の設定」（p.46）を参照）**

設定手順

「**メール機能／サーバ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**メール設定**」→「**メール機能 / サーバ**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。

通知機能セクションで以下の項目を設定します。



1. デバイスステータス通知／サーバ情報通知／コマンドメールを行う場合は、「**メール機能設定**」セクションで、以下の各項目のチェックボックスをチェックします。また、複数の項目をチェックすることもできます。
   - **デバイスステータス通知**：
     デバイスでエラー／警告が発生、もしくはエラー／警告から復帰した際に、PageScope Net Care サーバは管理者／ユーザにメールで通知します。
   - **サーバ情報通知**：管理者は以下の情報をメールにより受け取ることができます。
     - デバイスの管理台数が 250 台を超えたことを通知する
     - 未サポートのデバイスを発見したことを通知する
   - **コマンドメールサポート**：
     PageScope Net Care サーバは、コマンドメールを受けることができます。
     （詳しくは、「コマンドメールの書式について」（p.52）を参照してください。）
2. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックしてください。

デバイスステータス通知の設定

ここでは、ログインしているユーザが PageScope Net Care サーバから、デバイスの状態を知らせるメールを受信する／しないを設定します。

設定手順

「**デバイスステータス通知**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが展開されていない場合は、「**サーバ設定**」→「**メール設定**」→「**デバイスステータス通知**」の順にアイコンをダブルクリックしてください。



1. デバイスの状態を知らせるメールを受信したい場合は、「**通知設定**」セクションで、以下の各項目を設定します。

   - **デバイスステータス通知を受信する**：
     このチェックボックスをチェックすると、デバイスの状態を知らせるメールを受信することができます。チェックを付けるには、現在ログインしているユーザのメールアドレスが登録されている必要があります。（「ユーザの登録手順」（p.40）を参照）

ご注意

> - **管理者の場合は、PageScope Net Care サーバが管理しているすべてのデバイスのステータス通知メールを受信できますが、登録ユーザの場合は、ユーザ登録時に割り当てられたカスタムグループに含まれるデバイスのステータス通知メールのみ受信することができます。また、メールを受信するには、ログインしている各ユーザが PageScope Net Care サーバに電子メールアドレスを登録している必要があります。**

- **ユーザ名（表示のみ）**：
  現在ログインしているユーザのユーザ名を表示します。
- **メールアドレス（表示のみ）**：
  現在ログインしているユーザの電子メールアドレスを表示します。（「ユーザの登録手順」（p.40）を参照）
- **メールの言語**：
  現在ログインしているユーザが受信するメールの言語を、ドロップダウンリストから選択します。ここで選択できる言語は、PageScope Net Care サーバに対応している言語を選択することができます。また、プラグインを追加することで、言語を追加することもできます。

2. 「**通知するステータス**」セクションでは、受信したいメールの内容をデバイスのエラー、警告別に選択することができます。「**状態復帰通知**」セクションでは、エラーからの復帰時に受信したいメールの内容をデバイスのエラー、警告別に選択することができます。
   ただし、この設定をするには、「**通知設定**」セクションで、「**デバイスステータス通知を受信する**」がチェックされている必要があります。

エラー	警告
• 致命的エラー	• トナー少量
• 紙詰まり	• 用紙少量
• トナーなし	• 排紙口ニアフル
• 用紙なし	• オフライン
• 排紙口フル	• メンテナンス時期
• デバイス部品装着不良	• その他の警告

エラー	警告
• その他のエラー	• 応答エラー

3. **[適用]** ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**[取り消し]** ボタンをクリックしてください。

コマンドメールの書式について

To： <PageScope Net Care サーバのメールアドレス>
Subject： get <オプション><デバイスの IP アドレス>
本文： <空白>

例：デバイスの IP アドレスが 192.9.200.100 の場合

メールコマンドで得られる情報	Subject の例
デバイスの状態	get -s 192.9.200.100
デバイスのネットワーク設定の情報	get -n 192.9.200.100
システム情報	get -y 192.9.200.100
デバイスの詳細な情報	get -d 192.9.200.100
スキャナ情報	get -c 192.9.200.100
ジャムカウント	get -j12 192.9.200.100
エラーカウント	get -e4 192.9.200.100
管理対象のデバイスのリスト	get -l

ご注意

- **コマンドメールは、必ず登録されているユーザのメールアドレスから送信してください。登録されていないメールアドレスから送信したコマンドメールは、無効になります。**

6.14 PageScope Net Care のバージョン確認

PageScope Net Care のバージョン情報を表示することができます。

バージョン情報の表示方法

1. 「About」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

   Java モードで「**サーバ設定**」メニューのツリーが表示されていない場合は、「**サーバ設定**」→「About」の順にアイコンをダブルクリックしてください。

2. バージョンを確認したら、ウィンドウを閉じます。

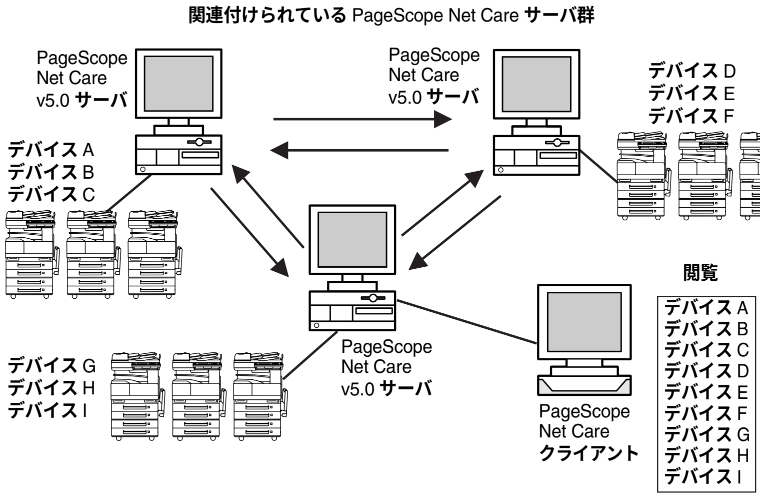
7 複数の PageScope Net Care サーバが管理しているデバイス情報を一元管理する

複数の PageScope Net Care サーバが存在しており、すべてのデバイス情報を閲覧したい場合、それぞれの PageScope Net Care サーバにアクセスすることで閲覧することが可能ですが、それでは作業効率が低くなってしまいます。しかし、その場合、すべての PageScope Net Care サーバの関連付けを行うことにより、その内の 1 台にアクセスするだけですべてのデバイス情報を閲覧することが可能になります。

メモ

- **一台の** PageScope Net Care **サーバでは、**250 **台までのデバイスを管理できます。**251 **台以上のデバイスを管理するには** 2 **台以上のサーバが必要となり、その場合、サーバ関連付け機能が効果を発揮します。**
- PageScope Net Care v5.0 **以降のサーバ同士でのみ一元管理機能は有効です。**

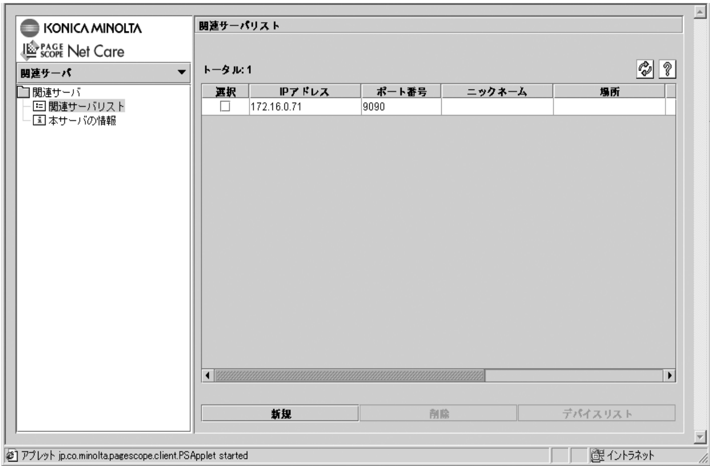
■サーバの関連付けを行うと、関連付けられているサーバは、それぞれが管理しているデバイス情報を相手に提供します。その結果、それぞれのサーバはすべてのデバイス情報を表示することができるようになります。したがって、PageScope Net Care クライアントから、関連付けられている PageScope Net Care サーバの内のどれか 1 台にアクセスすることですべてのデバイス情報を閲覧することが可能となります。



7.1 他の PageScope Net Care サーバと関連付けを行う

現在ログインしている PageScope Net Care サーバに、他の PageScope Net Care サーバを関連付けます。

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**関連サーバ**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**関連サーバ**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。
2. 「**関連サーバ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。



3. **[新規]** ボタンをクリックし、サーバ関連付け画面を表示します。設定項目を入力します。



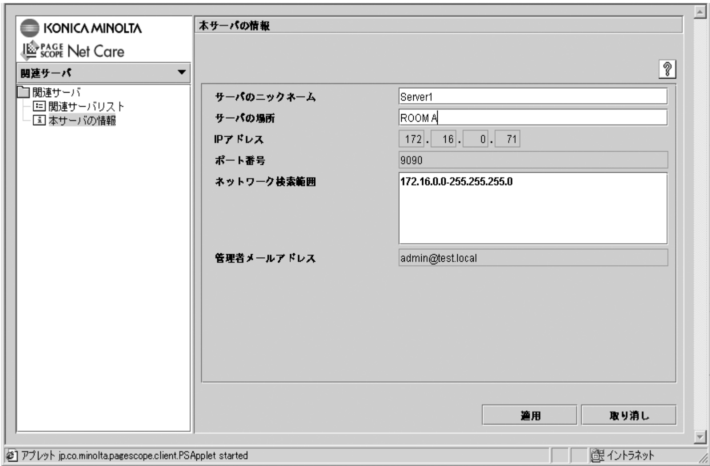
- **IP アドレス：** 関連付ける PageScope Net Care サーバの IP アドレスを入力します。
- **ポート番号：** 関連付ける PageScope Net Care サーバのポート番号を入力します。（初期設定値は “9090” です。）

4. **[適用]** ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**[取り消し]** ボタンをクリックします。

7.2 PageScope Net Care サーバ情報を設定する

現在ログインしている PageScope Net Care サーバについての情報を設定することで、他の PageScope Net Care サーバに情報を開示することができます。

1. 「**関連サーバ**」メニューから「**本サーバの情報**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、設定画面を表示させます。



2. 情報を入力します。

- **サーバのニックネーム**：
  現在ログインしている PageScope Net Care サーバの名前を入力します。
- **サーバの場所**：　現在ログインしている PageScope Net Care サーバの設置場所を入力します。
- IP **アドレス**（表示のみ）：
  現在ログインしている PageScope Net Care サーバの IP アドレスが表示されます。
- **ポート番号**（表示のみ）：
  現在ログインしている PageScope Net Care サーバのポート番号が表示されます。

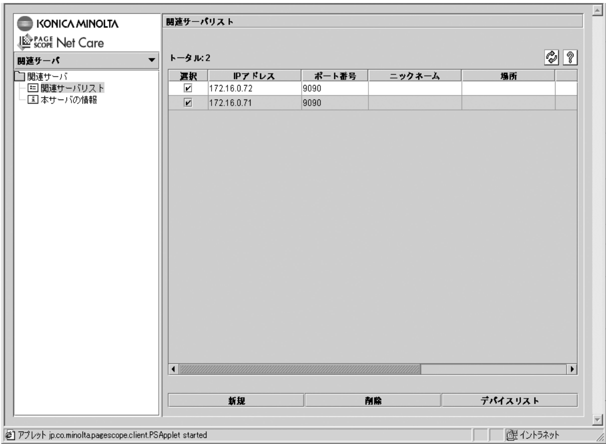
- **ネットワークの検索範囲**（表示のみ）：
  現在ログインしている PageScope Net Care サーバが管理しているネットワークの検索範囲が表示されます。検索範囲の指定方法については、「3.4 検索範囲の設定」（p.16）を参照してください。
- **管理者メールアドレス**（表示のみ）：
  現在ログインしている PageScope Net Care サーバの管理者の電子メールアドレスが表示されます。このボックスは、「6.9 ユーザの登録と編集」（p.39）で管理者の電子メールアドレスを設定した場合に表示されます。

3. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックします。

7.3 PageScope Net Care クライアントからデバイス情報を閲覧する

関連付けられた、それぞれのサーバが管理しているデバイスリストを結合して表示させることができます。

1. 「**関連サーバ**」メニューから「**関連サーバリスト**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、「**関連サーバリスト**」を表示させます。



2. 表示されている、関連付けられたサーバの中から、デバイスリストを閲覧したいサーバの「**選択**」チェックボックスをチェックします。
3. **[デバイスリスト]** ボタンをクリックします。
4. **[表示設定]** ボタンをクリックすると、表示したい項目を選択することができます。
5. **[フィルタ]** ボタンをクリックすると、表示したいデバイスを絞り込むことができます。

メモ

- **「関連サーバリスト」にリスト表示されている** PageScope Net Care **サーバをダブルクリック（**HTML **モードの場合、「**Go**」をクリック）すると、サーバにログインすることができます。**

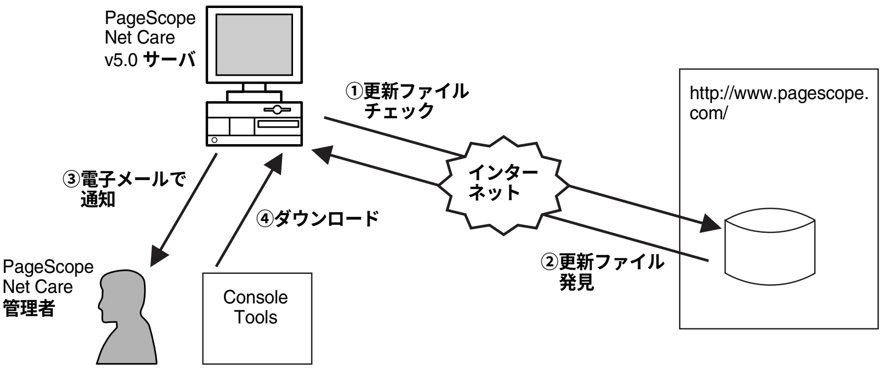
7.4 関連付けを削除する

他の PageScope Net Care サーバとの関連付けを取り消します。

1. 「**関連サーバ**」メニューから「**関連サーバリスト**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、「**関連サーバリスト**」を表示させます。
2. 削除する PageScope Net Care サーバを選択します。
3. **［削除］**ボタンをクリックします。

8 更新ファイル自動チェックおよびダウンロード

PageScope Net Care サーバが、http://www.pagescope.com/ に定期的にアクセスし、サーバ自体にインストールされているものより新しいバージョンが存在しているかを自動チェックします。もし、新しいバージョンのものが http://www.pagescope.com/ に存在している場合、その旨を PageScope Net Care サーバの管理者アドレスに電子メールで連絡します。管理者が、更新ファイルのダウンロードが必要と判断した場合、Console Tools から更新ファイルをダウンロードします。



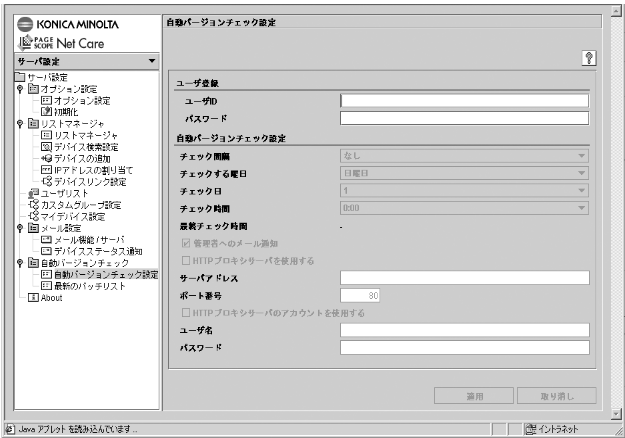
8.1 更新ファイル自動チェックを行うための設定

更新ファイルを自動チェックするためには、以下の設定を行う必要があります。

ご注意

- **更新ファイル自動チェック機能を使用する前に、http://www.pagescope.com/ のダウンロード用ユーザー登録でユーザー登録を行ってください。ユーザ ID とパスワードが発行されます。**

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。
2. 「**自動バージョンチェック設定**」をダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、設定画面を表示させます。



3. 各項目を設定します。
   - **ユーザ ID**：　http://www.pagescope.com/ のダウンロード用ユーザー登録で発行されたユーザ ID を入力します。
   - **パスワード**：　http://www.pagescope.com/ のダウンロード用ユーザー登録で発行されたパスワードを入力します。

- **チェック間隔**：　更新ファイルの有無を自動的にチェックする間隔を、「**なし**」「**毎週**」「**毎月**」「**サーバ起動時**」から選択します。
- **チェックする曜日**：
「**チェック間隔**」の項目で「**なし**」「**毎月**」「**サーバ起動時**」を選択したときは、この項目は設定できません。
「**チェック間隔**」の項目で「**毎週**」を選択したときは、チェックを行う曜日を選択します。
- **チェック日**：　「**チェック間隔**」の項目で「**なし**」「**毎週**」「**サーバ起動時**」を選択したときは、この項目は設定できません。
「**チェック間隔**」の項目で「**毎月**」を選択したときは、チェックする日を選択します。
- **チェック時間**：　チェックを行う時刻を指定します。
- **最終チェック時間**（表示のみ）：
最終チェック時刻が表示されます。
- **管理者へのメール通知**：
バージョンチェックの結果を管理者に電子メールで通知する場合は、チェックします。
- HTTP **プロキシサーバを使用する**：
HTTP プロキシサーバを使用する場合は、チェックします。
- **サーバアドレス**：
HTTP プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
- **ポート番号**：　HTTP プロキシサーバのポート番号を入力します。
- HTTP **プロキシサーバのアカウントを使用する**：
HTTP プロキシアカウントを使用する場合は、チェックします。
- **アカウント**：　プロキシサーバに登録されているアカウント名を入力します。
- **パスワード**：　プロキシサーバに登録されているパスワードを入力します。

4. **［適用］**ボタンをクリックします。操作を取り消したい場合は、**［取り消し］**ボタンをクリックします。

8.2 更新ファイルの確認

更新ファイルの一覧を確認します。

1. 「**サーバ設定**」メニューから「**最新のパッチリスト**」をダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）し、更新ファイルのリストを表示させます。
2. 最新の情報を入手したい場合は、**[今すぐチェックする]** ボタンをクリックします。



8.3 更新ファイルのダウンロード

管理者が更新ファイルのダウンロードが必要と判断した場合、Console Tools よりダウンロードを行います。

ここでは、HTML 版の Console Tools を使用してダウンロードする手順を説明しています。（アプリケーション版の Console Tools からでもダウンロードすることができます。）

1. ログイン画面から「Console Tools」リンクを選択します。
   HTML 版 Console Tools 画面が表示されます。
2. 「**ダウンロードインストール**」をクリックします。



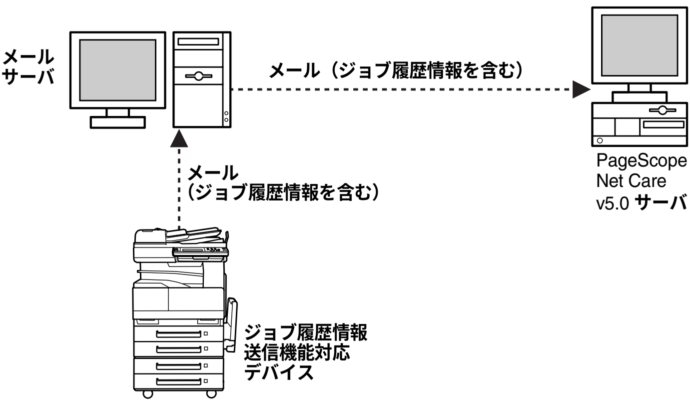
3. ダウンロードする更新ファイルを選択し、**［インストール］**をクリックします。

9 デバイスのジョブ履歴情報を電子メールで入手し閲覧する

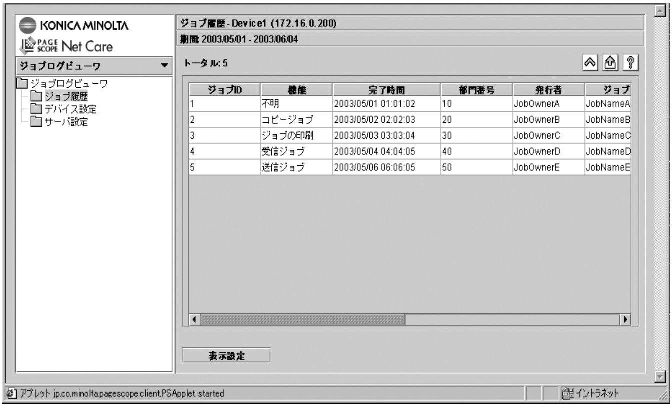
PageScope Net Care は、各デバイスからジョブ履歴情報が含まれている電子メールを受信し、各デバイスのジョブ履歴情報（プリント・コピー・受信・送信）を保持します。ユーザは、各デバイスのジョブ履歴情報を閲覧することができます。ジョブ履歴情報を含む電子メールは、ジョブの発生（プリント・コピー・受信・送信）のたびに自動的に発信されます。ジョブ履歴情報を閲覧することで、誰がどのような種類（設定）の処理を行ったかを確認することができます。

重要

- **当機能を使用するには、事前にメール設定を完了しておく必要があります。（「6.12 メール送受信の設定」（p.46）を参照）**



ジョブ履歴情報表示画面



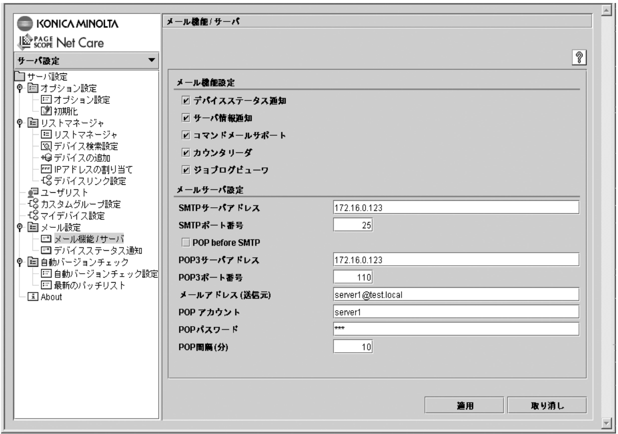
ジョブ履歴情報送信機能に対応しているデバイス

2003 年 5 月現在、以下のデバイスがジョブ履歴情報送信機能に対応しています。対応デバイスは、「9.3 ジョブ履歴情報送信機能を使用するためのデバイス側の初期設定」（p.71）のデバイスリストに表示されます。

- magicolor 7300（ハードディスクオプション装着の場合のみ）
- magicolor 2350（ハードディスクオプション装着の場合のみ）

9.1 ジョブ履歴情報送信機能を使用するための PageScope Net Care サーバ側の初期設定①

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。
2. 「**サーバ設定**」メニューから「**メール設定**」→「**メール機能 / サーバ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。

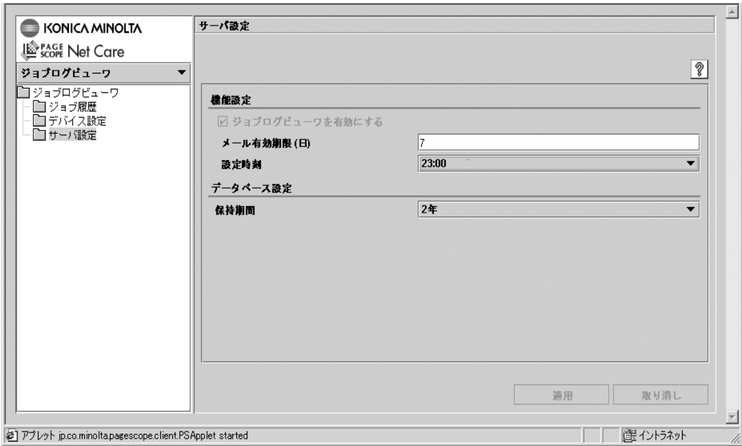


3. 「**ジョブログビューワ**」チェックボックスをチェックします。
4. [**適用**] ボタンをクリックします。

9.2 ジョブ履歴情報送信機能を使用するための PageScope Net Care サーバ側の初期設定②

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**ジョブログビューワ**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**ジョブログビューワ**」を選択し、[Go] ボタンをクリックします。

2. 「**ジョブログビューワ**」メニューから「**サーバ設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。



3. 以下の設定を行います。

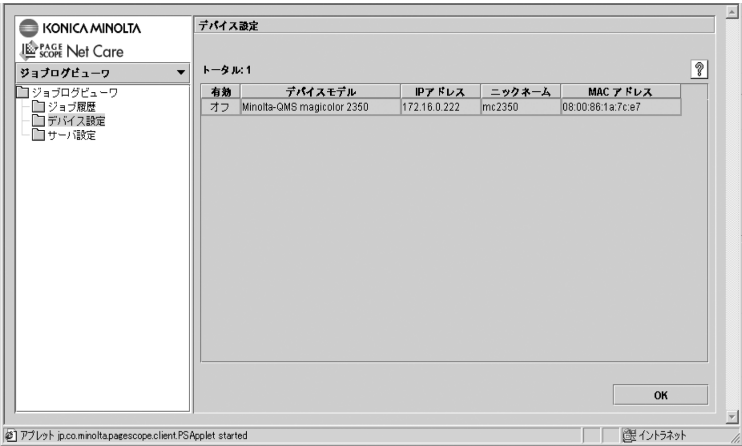
- **ジョブログビューワを有効にする（表示のみ）**：「**メール機能 / サーバ**」で「**ジョブログビューワ**」にチェックを付けて有効にした場合、自動的にチェックが付きます。

- **メール有効期限（日）および 設定時刻**：
  PageScope Net Care サーバが停止しているにも関わらず、デバイスがメールを送信し続ける状態を防ぐために、デバイスがジョブ履歴情報メールを何日先まで送信を行うか設定します。例えば、値を 20 に設定した場合、デバイスは 20 日先までメール送信します。PageScope Net Care サーバは、「**設定時刻**」で設定した時刻に毎日デバイスにアクセスし、値を更新します。更新され続ける限り、デバイスの値は常に 20 のままとなり、デバイスはメール送信を停止することはありません。もし、PageScope Net Care サーバが停止している場合は、デバイス側の値は更新されないため、デバイスは 21 日後にメール送信を停止します。（ただし、20 日以内に PageScope Net Care サーバが再起動し、デバイスの値を更新した場合は、デバイスの値は再び 20 になります。）
- **保持期間**： ジョブ履歴情報を保存しておく期間を設定します。

9.3 ジョブ履歴情報送信機能を使用するためのデバイス側の初期設定

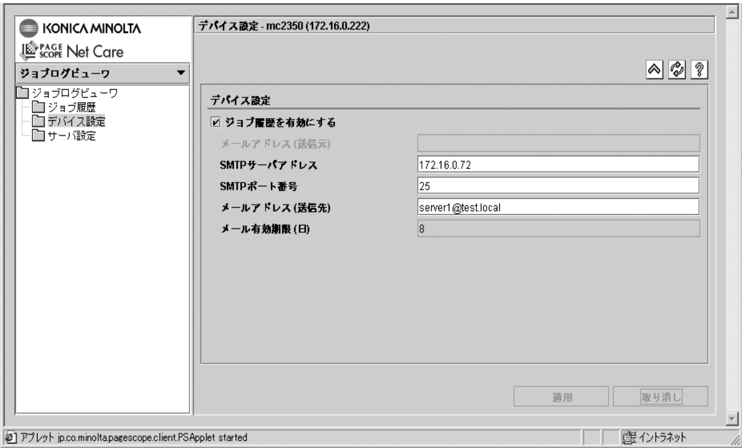
ジョブ履歴情報送信機能を使用するために以下の初期設定を行います。

1. 「**ジョブログビューワ**」メニューから「**デバイス設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。当機能に対応しているデバイスがリスト表示されます。



2. 当機能で管理するデバイスを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

3. 以下の設定を行います。

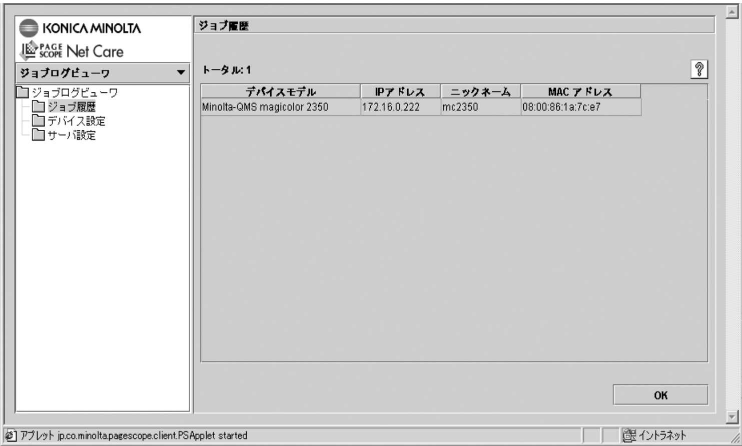


- **ジョブ履歴を有効にする**：
  ジョブ履歴情報送信機能を使用する場合は、チェックします。
- **メールアドレス（送信元）**：
  デバイスのメールアドレスを入力します。
- SMTP **サーバアドレス**：
  デバイスが PageScope Net Care サーバにメールを送信するときに使用する SMTP サーバの IP アドレスを入力します。
- SMTP **ポート番号**：
  デバイスが PageScope Net Care サーバにメールを送信するときに使用する SMTP サーバのポート番号を入力します。
- **メールアドレス（送信先）**：
  PageScope Net Care サーバのメールアドレスを入力します。
- **メール有効期限（日）**：
  デバイスの現在の「**メール有効期限（日）**」の値が表示されます。

9.4　ジョブ履歴情報の閲覧

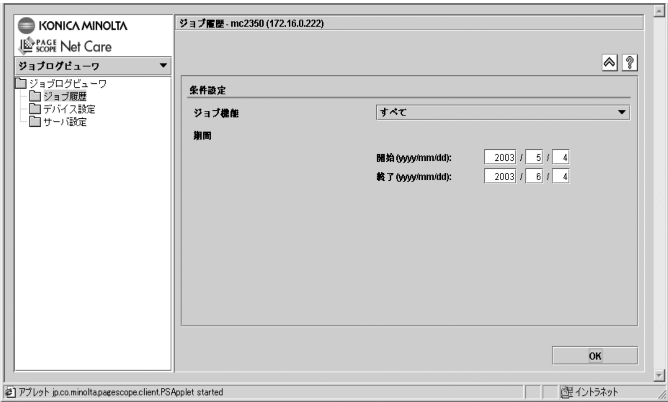
PageScope Net Care サーバに保持されているジョブ履歴情報を閲覧します。「9.3 ジョブ履歴情報送信機能を使用するためのデバイス側の初期設定」（p.71）の「ジョブ履歴を有効にする」チェックボックスがオンのデバイスが表示されます。

1. 「**ジョブログビューワ**」メニューから「**ジョブ履歴**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。当機能で管理しているデバイスがリスト表示されます。



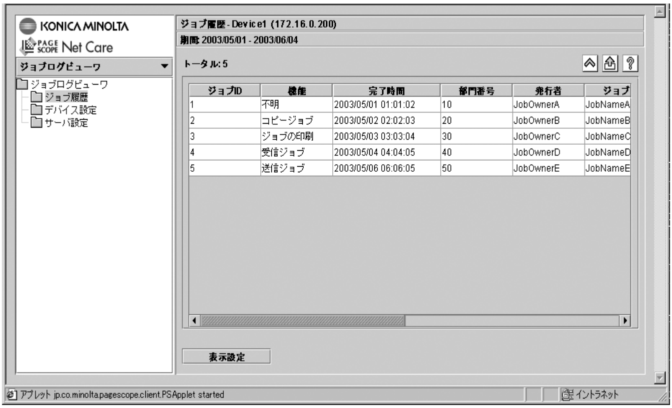
2. ジョブ履歴情報を閲覧したいデバイスをクリックします。（HTML モードの場合は、デバイスを選択し、［OK］ボタンをクリックします。）

3. 条件設定が表示されます。表示する範囲を指定し、[OK] ボタンをクリックします。



- **ジョブ機能**：　すべて、コピージョブ、プリントジョブ、受信ジョブ、送信ジョブの中から選択します。
- **期間**：　表示したい期間を指定します。

4. デバイスのジョブ履歴が表示されます。



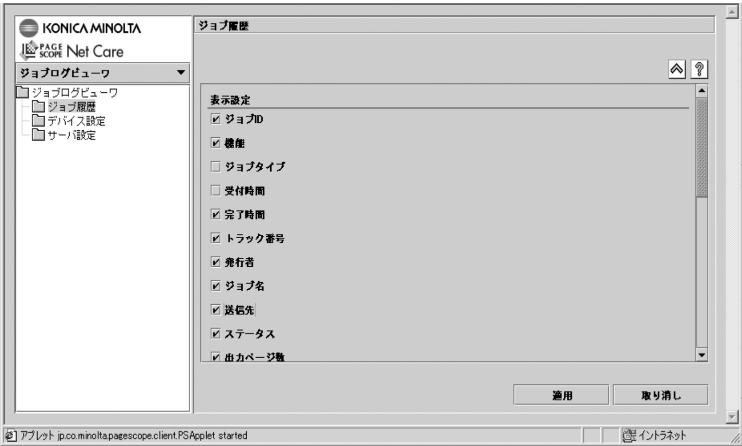
メモ

- **（出力アイコン）をクリックすると、テーブルの内容を CSV 形式で出力できます。**

9.5 ジョブ履歴情報リストの表示の切り替え

ジョブ履歴の表示項目を切り替えることができます。

1. ジョブ履歴情報リストに表示されている、**[表示設定]** ボタンをクリックします。
2. 表示したい項目にチェックを付けます。

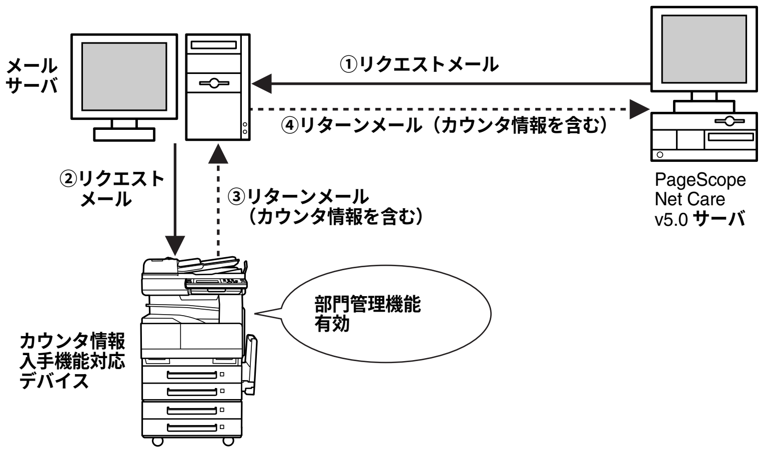


10 デバイスのカウンタ情報を電子メールで入手し閲覧する

PageScope Net Care サーバが、定期的に電子メールで各デバイスにリクエストメールを送信し、各デバイスがリターンメールを PageScope Net Care サーバに返すことで、PageScope Net Care サーバは各デバイスのカウンタ情報を入手し保持します。ユーザは、各デバイスのカウンタ情報を閲覧することができます。カウンタ情報には、トータルカウンタ、用紙サイズごとの使用枚数、部門コードごとの使用枚数が含まれています。PageScope Net Care サーバはそれらの情報を蓄積しており、ユーザは各デバイスの任意の期間の使用状況を簡単に管理することができるので、デバイスの管理者は当機能を使用することで毎回カウンタ情報を調査する作業から解放されます。

重要

- **当機能で管理するデバイスは、「部門管理機能」が有効な状態に設定されている必要があります。**
- **当機能を使用するには、事前にメール設定を完了しておく必要があります。（「6.12 メール送受信の設定」（p.46）を参照）**



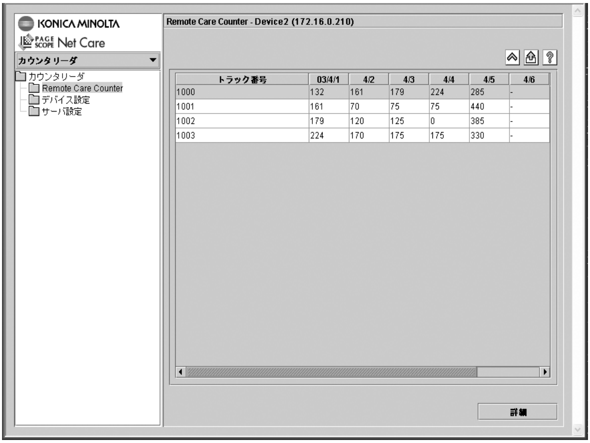
ご注意

お客様が、HEART システムによる遠隔診断機能をご利用の場合、デバイス側の電子メール送受信設定（「10.1 デバイスの電子メール送受信設定」（p.78））は必要ありません。HEART システムと当機能は同じ機能を共用しているため既に設定がされています。

参考：部門管理とは？

> **コピー機の部門管理機能は部門番号ごとの使用枚数を管理する機能です。**
> **コピー機で部門管理機能を有効にしている場合、コピー機を使用するためには、コピー機の操作パネルから、部門番号と関連付けられているパスワードを入力する必要があります。**
> **使用枚数は部門番号ごとにカウントされ、コピー機の管理者は部門番号ごとの使用枚数を簡単に確認することができます。**

カウンタ情報表示画面



カウンタ情報入手機能に対応しているデバイス

2003 年 5 月現在、以下のデバイスがカウンタ情報入手機能に対応しています。（当機能を使用するには、デバイスにプリンタコントローラオプションもしくはスキャナオプションを装着している必要があります。）

対応デバイスは、「10.5 当機能で使用するデバイスを PageScope Net Care サーバに登録する」（p.81）のデバイスリストに表示されます。

- CF3102/2002
- Di3510(f)/3010(f)/2510(f)/1810(f)

10.1 デバイスの電子メール送受信設定
（この作業は、デバイス側で行います）

デバイスが電子メールを送受信するための設定を行う必要があります。設定方法は各デバイスにより異なります。設定方法については、http://www.pagescope.com でご確認ください。

主な設定項目

- **SMTP サーバ IP アドレス**：
  SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- **POP3 サーバ IP アドレス**：
  POP3 サーバの IP アドレスを入力します。
- **POP3 サーバログインユーザー名**：
  POP3 サーバにログインするユーザ名を入力します。
- **POP3 サーバログインパスワード**：
  POP3 サーバにログインするユーザのパスワードを入力します。
- **デバイスの E メールアドレス**：
  デバイスの電子メールアドレスを入力します。（通常、「POP3 サーバログインユーザー名 @ ドメイン名」がデバイスのメールアドレスになります。）

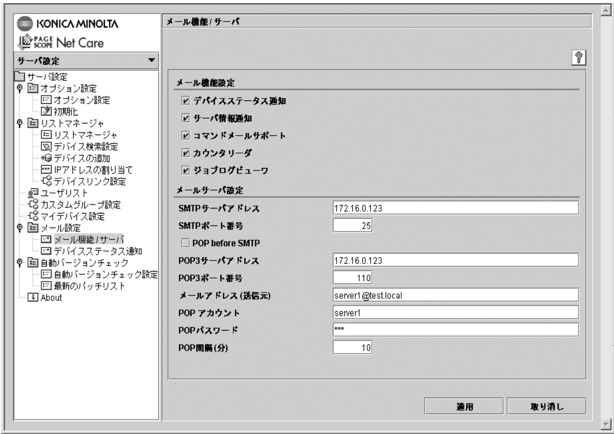
10.2 デバイスを部門管理状態にする
（この作業は、デバイス側で行います）

当機能を使用するためには、デバイス側が部門管理状態に設定されている必要があります。設定方法は各デバイスにより異なります。デバイスに付属している取扱説明書をご確認ください。

10.3 当機能を使用するための PageScope Net Care サーバ側の初期設定①

（この作業は、PageScope Net Care サーバ側で行います）

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**サーバ設定**」を選択し、［Go］ボタンをクリックします。
2. 「**サーバ設定**」メニューから「**メール設定**」→「**メール機能 / サーバ**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。



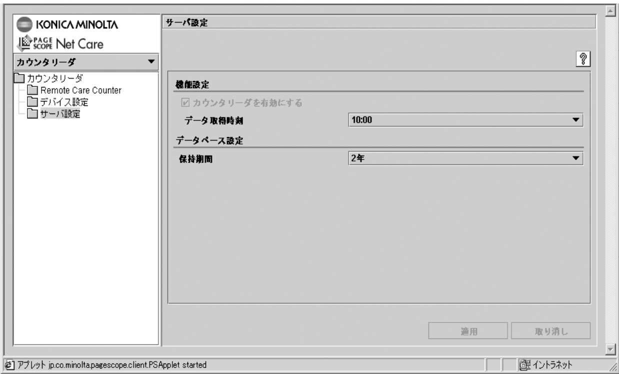
3. 「**カウンタリーダ**」チェックボックスをチェックします。
4. ［**適用**］ボタンをクリックします。

10.4 当機能を使用するための PageScope Net Care サーバ側の初期設定②

（この作業は、PageScope Net Care サーバ側で行います）

当機能を使用するために以下の設定を行います。

1. 画面の左側にあるドロップダウンリストから「**カウンタリーダ**」を選択します。HTML モードの場合は、画面の左側にあるドロップダウンリストから「**カウンタリーダ**」を選択し、［Go］ボタンをクリックします。
2. 「**サーバ設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。
3. サーバ側で以下の設定を行います。



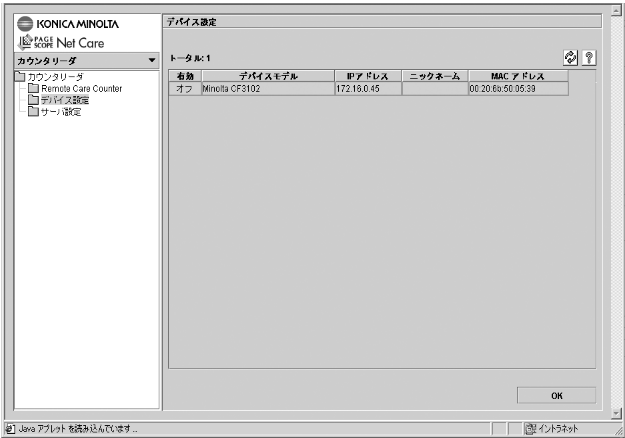
- **カウンタリーダを有効にする（表示のみ）**：「**メール機能 / サーバ**」で「**カウンタリーダ**」にチェックを付けて有効にした場合、自動的にチェックが付きます。
- **データ取得時刻**：カウンタ情報を要求する時刻を設定します。
- **保持期間**：カウンタ情報を保存しておく期間を設定します。

10.5 当機能で使用するデバイスを PageScope Net Care サーバに登録する

（この作業は、PageScope Net Care サーバ側で行います）

当機能をサポートしているデバイスの中から、管理するデバイスを PageScope Net Care サーバに登録します。

1. 「**カウンタリーダ**」メニューから「**デバイス設定**」アイコンをダブルクリック（HTML モードの場合はクリック）します。



2. 登録するデバイスを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

3. 設定を行います。

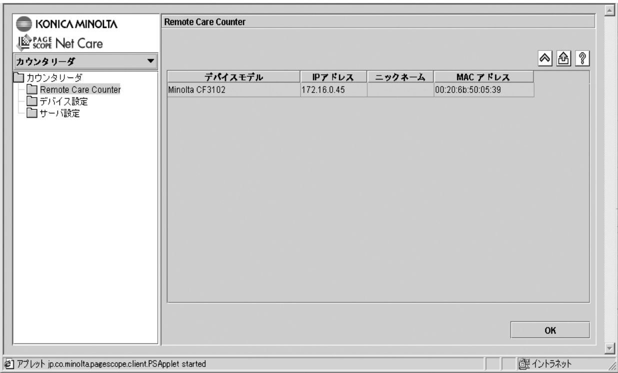
- **カウンタリーダを有効にする**：
  カウンタ情報入手機能を有効にする場合は、チェックします。
- **メールアドレス**：
  デバイスのメールアドレスを入力します。

10.6 カウンタ情報を閲覧する

カウンタ情報を閲覧します。表示方法は、トータルカウンタ、サイズカウンタ、トラックカウンタの中から選択することができます。

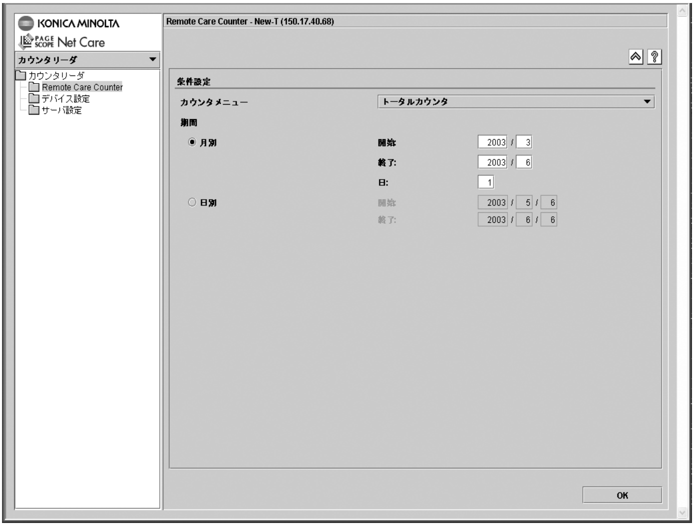
「10.5 当機能で使用するデバイスを PageScope Net Care サーバに登録する」(p.81)の「カウンタリーダを有効にする」チェックボックスがオンのデバイスが表示されます。

1. 「**カウンタリーダ**」メニューから「Remote Care Counter」アイコンをダブルクリック(HTML モードの場合はクリック)します。当機能で管理しているデバイスがリスト表示されます。



2. カウンタ情報を閲覧したいデバイスを選択してクリックします。(HTML モードの場合は、デバイスを選択し、[OK]ボタンをクリックします。)

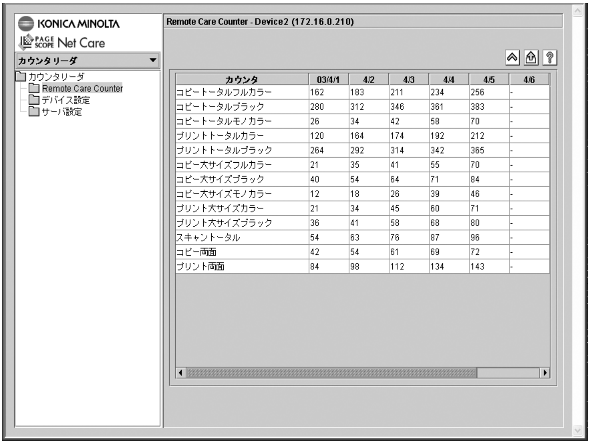
3. 条件設定が表示されます。表示する範囲を指定し、[OK] ボタンをクリックします。



- **カウンタメニュー**：
  トータルカウンタ／サイズカウンタ／部門カウンタの中から選択します。
- **期間**：　表示したい期間を指定します。

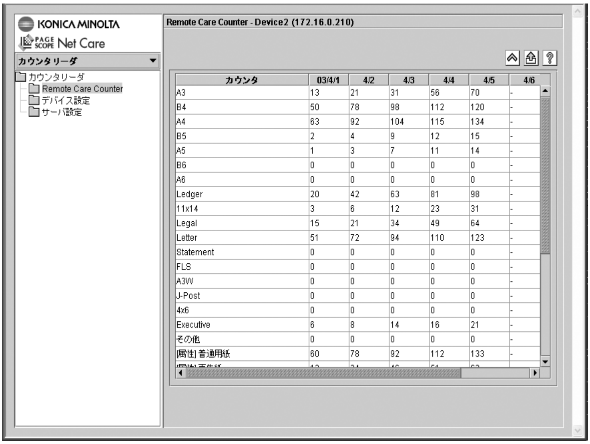
4. デバイスのカウンター情報が表示されます。

トータルカウンタ



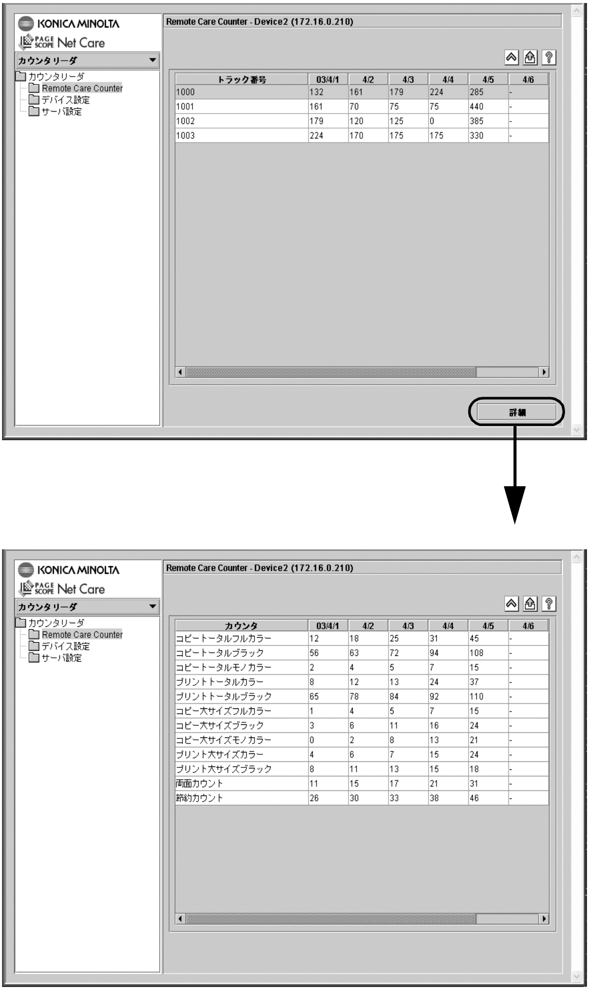
カウンタ	03/4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
コピートータルフルカラー	162	183	211	234	256	-
コピートータルブラック	280	312	346	361	383	-
コピートータルモノカラー	26	34	42	58	70	-
プリントトータルカラー	120	164	174	192	212	-
プリントトータルブラック	264	292	314	342	365	-
コピー大サイズフルカラー	21	35	41	55	70	-
コピー大サイズブラック	40	54	64	71	84	-
コピー大サイズモノカラー	12	18	26	39	46	-
プリント大サイズカラー	21	34	45	60	71	-
プリント大サイズブラック	36	41	58	68	80	-
スキャントータル	54	63	76	87	96	-
コピー両面	42	54	61	69	72	-
プリント両面	84	98	112	134	143	-

サイズカウンタ



カウンタ	03/4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
A3	13	21	31	56	70	-
B4	50	78	98	112	120	-
A4	63	92	104	115	134	-
B5	2	4	9	12	15	-
A5	1	3	7	11	14	-
B6	0	0	0	0	0	-
A6	0	0	0	0	0	-
Ledger	20	42	63	81	98	-
11x14	3	6	12	23	31	-
Legal	15	21	34	49	64	-
Letter	51	72	94	110	123	-
Statement	0	0	0	0	0	-
FLS	0	0	0	0	0	-
A3W	0	0	0	0	0	-
J-Post	0	0	0	0	0	-
4x6	0	0	0	0	0	-
Executive	6	8	14	16	21	-
その他	0	0	0	0	0	-
[属性] 普通用紙	60	78	92	112	133	-

部門カウンタ



トラック番号	03/4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
1000	132	161	179	224	285	-
1001	161	70	75	75	440	-
1002	179	120	125	0	385	-
1003	224	170	175	175	330	-

カウンタ	03/4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
コピートータルフルカラー	12	18	25	31	45	-
コピートータルブラック	56	63	72	94	108	-
コピートータルモノカラー	2	4	5	7	15	-
プリントトータルカラー	8	12	13	24	37	-
プリントトータルブラック	65	78	84	92	110	-
コピー大サイズフルカラー	1	4	5	7	15	-
コピー大サイズブラック	3	6	11	16	24	-
コピー大サイズモノカラー	0	2	8	13	21	-
プリント大サイズカラー	4	6	7	15	24	-
プリント大サイズブラック	8	11	13	15	18	-
両面カウント	11	15	17	21	31	-
節約カウント	26	30	33	38	46	-

メモ

- （出力アイコン）をクリックすると、テーブルの内容を CSV 形式で出力できます。

本書の内容は製品の改良のため、
予告なしに変更することがあり
ます。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社
2003. 10　〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング　4343-PS001-03